

平成 22 年度
老人保健健康増進等事業
による 研究報告書

介護療養病床等における入所者の実態に関する調査研究
医療施設・介護施設の利用者に関する
横断調査【介護保険施設】

報告書

平成 23 年 3 月

財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会



医療経済研究機構

調査研究体制

【調査研究担当】

医療経済研究機構

日原	知己	研究主幹
印南	一路	研究部長
沢村	香苗	主任研究員
中島	民恵子	主任研究員
○服部	啓子	主任研究員

(○は主担当)

【業務一部委託先】

みずほ情報総研 株式会社

社会経済コンサルティング部 医療政策チーム

山崎 学

介護療養病床等における入所者の実態に関する調査研究
医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査【介護保険施設】
【研究要旨】

I. 目的

本調査は、介護保険三施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者の状態像や医療処置の実施状況等について、共通の尺度を用いて横断的に把握することにより、医療と介護の連携に係る検討に資するデータを収集・分析することを目的として実施したものである。

なお、本調査は「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」の介護保険施設部分である。「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」は、長期入院患者の多い医療保険適用病床等（一般病床の一部、医療療養病棟等）と介護保険三施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者について横断的な調査を実施したものである。本報告書では、このうちの介護保険施設部分の調査結果について記載する。なお、一部の集計結果については、参考として医療保険適用の療養病床（以下「医療療養病床」という。）の調査結果を併記している。

II. 対象・方法

1. 調査対象

本調査では、介護療養型医療施設については全数（2,227施設）、介護老人保健施設、介護老人福祉施設についてはそれぞれ2,000施設を無作為抽出して調査対象施設とした。

2. 調査基準日

平成22年6月23日（水）

3. 調査の構成等

調査対象施設の概況について調査する「施設特性調査」と、調査対象施設の入院患者/入所者のうち無作為に3分の1抽出した者の状態像を個別に調査する「患者特性調査/入所者特性調査」の二種類の調査を実施した。

III. 調査結果の概要

1. 回収状況

図表1 回収状況

調査対象施設	発送数 ①	回収数		回収率 ②÷①
		施設票 ②	患者票等	
介護療養型医療施設（病院）	1,597件	951件	18,539人分	59.5%
介護療養型医療施設（診療所）	630件	211件	752人分	33.5%
介護老人保健施設	2,000件	1,036件	29,272人分	51.8%
介護老人福祉施設	2,000件	1,024件	24,111人分	51.2%
【参考】医療療養病床	3,933件	1,890件	33,020人分	48.1%

2. 施設の概況

(1) 定員数、入所者数、職員数

平均定員数、入所者数は図表2のとおりであった。また、職員配置を施設種別にみると、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）、介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設の順に医療スタッフ（医師、看護職員）の配置が手厚くなっている一方で、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設では介護職員の配置が手厚くなっていた。

図表2 定員数、入所者数、50床当たり職員数

	施設数	許可病床数 ・定員	入院患者数 ・入所者数	50床当たり職員数		
				医師	看護職員	看護補助者 ・介護職員
介護療養型医療施設	792件	54.3床	51.7人	1.8人	11.4人	14.6人
介護老人保健施設	介護療養型	26件	47.0床	1.2人	10.6人	13.9人
	従来型	896件	91.8床	0.6人	5.8人	17.3人
介護老人福祉施設	882件	68.5床	67.7人	0.3人	3.2人	24.2人
【参考】医療療養病床	1,341件	56.2床	52.5人	2.0人	13.9人	13.5人

(2) 全く受け入れていない患者/入所者の状態像

図表3 全く受け入れていない患者・入所者の状態像【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	932件	211件	30件	1,006件	1,024件
気管切開をしている	22.6%	41.7%	26.7%	62.3%	74.4%
中心静脈栄養をしている	37.6%	37.9%	53.3%	83.9%	83.3%
経鼻経管栄養をしている	1.7%	7.1%	13.3%	37.6%	33.5%
胃ろう・腸ろうをしている	1.3%	10.0%	0.0%	8.3%	5.6%
インスリンを投与している	3.8%	5.7%	6.7%	8.8%	16.1%
酸素療法をしている	11.5%	14.7%	16.7%	39.0%	23.1%
人工透析をしている	84.1%	89.6%	80.0%	78.0%	72.5%
人工呼吸器をつけている	78.0%	81.0%	76.7%	89.1%	89.0%
喀痰吸引の必要がある	1.7%	4.7%	3.3%	7.9%	8.9%
重度の褥瘡がある	12.4%	12.8%	6.7%	28.2%	14.6%
感染症（MRSA、緑膿菌など）がある	8.7%	20.9%	26.7%	15.2%	15.5%
重度の認知症（徘徊を含む）の状態にある	33.0%	44.1%	30.0%	11.4%	3.4%
重篤な合併症を併発している	44.0%	46.9%	56.7%	62.7%	56.6%
当該施設での看取りを希望する	2.8%	4.3%	10.0%	29.2%	9.9%
家族や身元引受人がない	23.0%	28.4%	13.3%	32.6%	14.5%
その他	1.5%	0.5%	3.3%	1.5%	0.8%

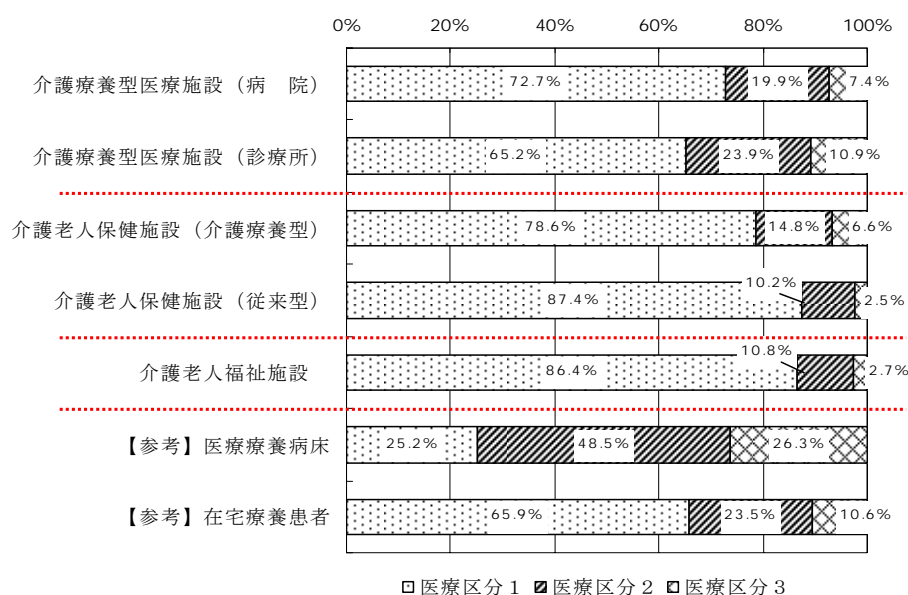
「人工透析をしている」「人工呼吸器をつけている」がいずれの施設種別においても7～8割程度に達していた。介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設で受け入れていない割合が他の施設種別よりも高いものとしては、「気管切開」「中心静脈栄養」等があげられた。また、「重度の認知症（徘徊を含む）」については、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設よりも、介護療養型医療施設や介護老人保健施設（介護療養型）で受け入れていない割合が高くなっていた。

3. 患者/入所者の状態像

(1) 医療区分、要介護度

介護保険施設の患者・入所者の医療区分の構成割合をみると、図表4のとおり、介護療養型医療施設（病院）と介護老人保健施設（介護療養型）では医療区分1の患者・入所者が75%程度を占め、介護老人保健施設（従来型）と介護老人福祉施設では医療区分1が87%程度であった。平均要介護度は、介護療養型医療施設（病院）4.4、介護療養型医療施設（診療所）4.1、介護老人保健施設（介護療養型）4.1、介護老人保健施設（従来型）3.3、介護老人福祉施設3.9であった。

図表4 医療区分



(2) 医療の提供状況

図表5 医療の提供状況【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
中心静脈栄養を実施している状態	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	6.9%
人工呼吸器を使用している状態（1日5時間以上）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
気管切開又は気管内挿管が行われている状態	1.7%	1.5%	3.0%	0.1%	0.1%	11.0%
酸素療法を実施している状態	2.8%	2.1%	2.2%	0.5%	0.8%	15.2%
喀痰吸引を実施している状態	18.5%	14.2%	13.8%	2.5%	4.4%	31.8%
経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態	36.9%	29.5%	34.5%	7.6%	10.9%	31.5%

医療の提供状況等についてみると（図表5）、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）では、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」、「喀痰吸引を実施している状態」の割合が他の施設種別よりも高くなっていた。一方、介護老人福祉施設ではほぼ全ての項目で医療の提供状況等の割合は低くなっていたが、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」は10%を超えていた。

4. 今後の生活・療養の場の見通し

患者等の病状を踏まえた上で、医療と介護の必要度から、施設側が最も適切と考える今後の療養先については、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において、「現在の場所が適切」が最も多かった。介護老人保健施設（従来型）の入所者については、「介護老人福祉施設が適切」40.6%が最も多く、次いで「現在の場所（介護老人保健施設）が適切」29.0%「自宅が適切」16.0%の順となった。

図表6 最も適切と考えられる生活・療養の場

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
自宅（家族等との同居も含む）	5.5%	8.2%	15.2%	16.0%	2.0%	11.3%
介護老人福祉施設	17.2%	14.1%	17.4%	40.6%	89.4%	9.0%
介護老人保健施設	7.1%	5.6%	<u>50.9%</u>	<u>29.0%</u>	0.8%	7.6%
その他の介護施設	2.1%	2.1%	1.0%	5.1%	0.6%	2.5%
一般病棟	0.7%	1.2%	0.0%	0.4%	0.6%	1.2%
医療療養病棟	7.9%	5.5%	6.2%	2.8%	1.4%	<u>57.3%</u>
介護療養型医療施設	<u>57.9%</u>	<u>61.6%</u>	7.2%	4.2%	1.4%	8.6%
その他の病棟	0.3%	0.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
その他	0.1%	0.3%	1.2%	0.2%	0.1%	0.6%
無回答	1.2%	0.8%	0.6%	1.4%	3.5%	1.5%

注：下線部は、各施設における「現在の場所」を示す。

今後の生活・療養の場に関する本人の希望についてみると、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において「意思表示不能」と「希望は把握していない」の合計が5割を超えた。本人が「現在の場所での療養を希望」する割合は、介護老人福祉施設、介護療養型医療施設（診療所）で30%程度であり、他の施設種別では20%程度であった。本人が「自宅での療養を希望」する割合は、介護老人保健施設（従来型）で23.7%、他の施設種別においては10%程度であった。

家族の希望についてみると、全ての施設種別において「現在の場所での療養を希望」する割合が高く、特に介護療養型医療施設（診療所）、介護老人福祉施設では8割を超えた。介護老人保健施設（従来型）においては、「介護老人福祉施設」での療養を希望するのが29.8%と、他の施設種別に比し高かった。いずれの施設種別においても「現在の場所での療養を希望」に次いで「介護老人福祉施設」を希望する割合が高く、退院/退所後は介護老人福祉施設に入所したいと考える家族が多いことがうかがわれた。なお、家族が「自宅での療養を希望する割合」は介護老人保健施設（従来型）では6.5%であったが、他の施設種別においては5%に満たなかった。

以上

目 次

調査研究体制.....	i
研究要旨.....	iii
目次.....	vii
第1章 調査の概要	- 1 -
1 調査の目的.....	- 1 -
2 調査の方法.....	- 2 -
3 調査の内容.....	- 3 -
4 回収状況.....	- 6 -
5 標章上の留意点.....	- 6 -
第2章 調査結果の概要	- 7 -
1 施設の概況.....	- 7 -
2 患者/入所者の基本属性.....	- 11 -
3 患者/入所者の状態像.....	- 13 -
4 入院/入所時の状況.....	- 20 -
5 今後の生活・療養の場の見通し.....	- 22 -
第3章 まとめ	- 27 -
1 施設の概況.....	- 27 -
2 患者/入所者の状態像.....	- 27 -
3 入院/入所時の状況と今後の見通し.....	- 28 -

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、介護保険三施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者の状態像や医療処置の実施状況等について、共通の尺度を用いて横断的に把握することにより、医療と介護の連携に係る検討に資するデータを収集・分析することを目的として実施したものである。

なお、本調査は「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」の一部（介護保険施設部分）である。「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」は、図表 1-1-1 のとおり、長期入院患者の多い医療保険適用病床等（一般病床の一部、医療療養病棟等）と介護保険三施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）の利用者について横断的な調査を実施したものである。本報告書では、このうちの介護保険施設部分の調査結果について記載する。なお、一部の集計結果については、参考として医療保険適用の療養病床（以下「医療療養病床」という。）や在宅療養患者に関する調査結果を併記している。

図表1-1-1 「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」の調査対象施設

施設種別	調査対象施設数
① 一般病棟入院基本料（13 対 1、15 対 1）を算定している病棟を有する病院	1,985 施設
② 障害者施設等入院基本料を算定している病棟を有する病院	772 施設
③ 特殊疾患入院医療管理料を算定している病棟を有する病院又は特殊疾患入院医療管理料を算定している病室を有する病院	223 施設
④ 療養病棟入院基本料（20 対 1、25 対 1）を算定している病棟を有する病院	2,744 施設
⑤ 有床診療所療養病床入院基本料を算定している診療所	1,189 施設
⑥ 在宅療養支援病院・診療所の届出施設	3,026 施設
⑦ 介護療養型医療施設を有する病院および診療所（全数調査）	2,227 施設
⑧ 介護老人保健施設	2,000 施設
⑨ 介護老人福祉施設	2,000 施設

※本報告書の内容は、上表のうちの介護保険施設部分（⑦～⑨）についてのものである。

※⑦は老人性認知症疾患療養病棟を有する施設を含む。

※上記施設には一部重複施設がある。

2 調査の方法

(1) 調査対象施設

本調査では、介護療養型医療施設については全数（2,227 施設）、介護老人保健施設、介護老人福祉施設についてはそれぞれ 2,000 施設を無作為抽出して調査対象施設とした。

(2) 調査基準日

平成 22 年 6 月 23 日（水）

(3) 調査の構成等

① 調査票

本調査では、調査対象施設の概況について調査する「施設特性調査」と、調査対象施設の入院患者/入所者のうち無作為に 3 分の 1 抽出した者の状態像を個別に調査する「患者特性調査/入所者特性調査」の二種類の調査を実施した。

② 調査の回答者

施設特性調査は管理者又は事務責任者による回答を求め、患者特性調査/入所者特性調査は担当の看護職員による回答を求めた。

③ 調査票の発送・回収方法

調査は平成 22 年 6 月 14 日（月）～7 月 7 日（水）を調査実施期間として、郵送発送・郵送回収により実施した。なお、患者特性調査/入所者特性調査は回答施設が集約し、施設特性調査とあわせて事務局へ返送した。

3 調査の内容

施設特性調査、及び患者特性調査/入所者特性調査の調査項目・調査内容は以下の通りである。

(1) 施設特性調査

図表1-3-1 調査内容（施設特性調査）

項 目	具体的な調査内容
基本情報	<input type="checkbox"/> 担当者氏名、部署・役職 <input type="checkbox"/> 電話番号、ファクス番号 <input type="checkbox"/> 施設名、住所 <input type="checkbox"/> 施設形態（病院・診療所）
施設概要	<input type="checkbox"/> 開設主体 <input type="checkbox"/> 併設する施設・事業所 <input type="checkbox"/> 病床数、入院患者数 <input type="checkbox"/> 調査対象病棟等に所属する職員数（医師、看護職員、介護職員） ≪平成 20 年 4 月以降に療養病床等から転換して開設された施設のみ≫ <input type="checkbox"/> 転換前の医療機関の種別
施設機能	<input type="checkbox"/> 全く受け入れていない患者の状態像 <input type="checkbox"/> 地域で果たす役割のうち、特に重要と考えるもの

(2) 患者特性調査/入所者特性調査

① 介護療養型医療施設の入院患者

図表1-3-2 調査内容（患者特性調査）

項 目	具体的な調査内容
基本情報	<input type="checkbox"/> 性別、年齢 <input type="checkbox"/> 入院年月 <input type="checkbox"/> 入院している病棟の種別 ≪平成 20 年 4 月以降に他の病棟から種別を変更した病棟のみ≫ ・病棟変更の年月 ・変更前の病棟の種別 <input type="checkbox"/> 入院時の理由 <input type="checkbox"/> 入院前の居場所 ≪入院前の居場所が「自宅（家族等との同居も含む）」のみ≫ ・自宅での介護者の有無
患者の状態像	<input type="checkbox"/> 現在治療中の疾患 <input type="checkbox"/> 要介護度・認定時期 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者の日常生活自立度

項 目	具体的な調査内容
今後の生活・療養の場の見通し	<input type="checkbox"/> 30 日後の病状の見通し <input type="checkbox"/> 最も適切と考えられる生活・療養の場 <input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場の見通し ≪現時点で最も適切と考えられる生活・療養の場で生活・療養する見通しが立っていない場合のみ≫ ・見通しが立たない理由
入所者本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望	<input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場に関する本人の希望 <input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場に関する家族の希望
入所者への医療の提供状況（医療区分等）に係る評価	
ADL区分に係る評価	

② 介護老人保健施設の入所者

図表1-3-3 調査内容（入所者特性調査・介護老人保健施設）

項 目	具体的な調査内容
基本情報	<input type="checkbox"/> 性別、年齢 <input type="checkbox"/> 入所年月 <input type="checkbox"/> 入所している施設の種別 <input type="checkbox"/> 入所時の理由 <input type="checkbox"/> 入所前の居場所 ≪入所前の居場所が「自宅（家族等との同居も含む）」のみ≫ ・自宅での介護者の有無
入所者の状態像	<input type="checkbox"/> 現在治療中の疾患 <input type="checkbox"/> 要介護度 ≪要介護認定を受けている場合のみ≫ ・認定時期 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者の日常生活自立度
今後の生活・療養の場の見通し	<input type="checkbox"/> 30 日後の病状の見通し <input type="checkbox"/> 最も適切と考えられる生活・療養の場 <input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場の見通し ≪現時点で最も適切と考えられる生活・療養の場で生活・療養する見通しが立っていない場合のみ≫ ・見通しが立たない理由
入所者本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望	<input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場に関する本人の希望 <input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場に関する家族の希望
入所者への医療の提供状況（医療区分等）に係る評価	
ADL区分に係る評価	

③ 介護老人福祉施設の入所者

図表1-3-4 調査内容（入所者特性調査・介護老人福祉施設）

項 目	具体的な調査内容
基本情報	<input type="checkbox"/> 性別、年齢 <input type="checkbox"/> 入所年月 <input type="checkbox"/> 入所時の理由 <input type="checkbox"/> 入所前の居場所 ≪入所前の居場所が「自宅（家族等との同居も含む）」の場合のみ≫ ・自宅での介護者の有無
入所者の状態像	<input type="checkbox"/> 現在治療中の疾患 <input type="checkbox"/> 要介護度 ≪要介護認定を受けている場合のみ≫ ・認定時期 <input type="checkbox"/> 認知症高齢者の日常生活自立度
今後の生活・療養の場の見通し	<input type="checkbox"/> 30日後の病状の見通し <input type="checkbox"/> 最も適切と考えられる生活・療養の場 <input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場の見通し ≪現時点で最も適切と考えられる生活・療養の場で生活・療養する見通しが立っていない場合のみ≫ ・見通しが立たない理由
入所者本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望	<input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場に関する本人の希望 <input type="checkbox"/> 今後の生活・療養の場に関する家族の希望
入所者への医療の提供状況（医療区分等）に係る評価	
ADL区分に係る評価	

4 回収状況

図表1-4-1 回収状況

調査対象施設	発送数 ①	回収数		回収率 ②÷①
		施設票 ②	患者票等	
介護療養型医療施設（病院）	1,597 件	951 件	18,539 人分	59.5%
介護療養型医療施設（診療所）	630 件	211 件	752 人分	33.5%
介護老人保健施設	2,000 件	1,036 件	29,272 人分	51.8%
介護老人福祉施設	2,000 件	1,024 件	24,111 人分	51.2%
【参考】医療療養病床	3,933 件	1,890 件	33,020 人分	48.1%

5 標章上の留意点

本報告書中に示す表章、集計数値については、下記の点に留意されたい。

- ・合計数値と内訳数値は、四捨五入の関係で合致しない場合がある。
- ・調査票中で複数回答を求めた項目については、図表タイトル中に【MA】と表記している。

第2章 調査結果の概要

1 施設の概況

(1) 開設者

回答のあった施設の開設者についてみると、介護療養型医療施設（病院）、介護療養型医療施設（診療所）、介護老人保健施設（介護療養型）で、医療法人が 81.6%、76.8%、83.3%を占めた。介護老人保健施設（従来型）では医療法人が 69.7%、社会福祉法人が 16.5%、介護老人福祉施設では社会福祉法人が 92.9%となっていた。

図表2-1-1 開設者

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	951件	211件	30件	1,006件	1,024件
国	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
都道府県	0.0%	0.5%	0.0%	0.1%	0.3%
市区町村	5.6%	1.9%	13.3%	4.8%	3.9%
公的（日赤・済生会等）	1.6%	0.0%	3.3%	1.1%	0.6%
社会保険関係団体	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.1%
広域連合・一部事務組合	0.8%	0.0%	0.0%	0.6%	1.6%
医療法人	81.6%	76.8%	83.3%	69.7%	0.1%
社会福祉法人	1.5%	0.0%	0.0%	16.5%	92.9%
社団・財団法人	4.4%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%
その他の法人	1.1%	0.9%	0.0%	1.9%	0.5%
個人	3.2%	19.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%

(2) 定員数、入所者数、50床当たり職員数

平均定員数は、介護療養型医療施設 54.3 床、介護老人保健施設（介護療養型）47.0 床、介護老人保健施設（従来型）91.8 床、介護老人福祉施設 68.5 床であった。

50 床当たり医師数（常勤換算）は、介護療養型医療施設 1.8 人、介護老人保健施設（介護療養型）1.2 人、介護老人保健施設（従来型）0.6 人、介護老人福祉施設 0.3 人であった。

50 床当たり看護職員数（常勤換算）は、介護療養型医療施設 11.4 人、介護老人保健施設（介護療養型）10.6 人、介護老人保健施設（従来型）5.8 人、介護老人福祉施設 3.2 人であった。

50 床当たり看護補助者数及び介護職員数（常勤換算）は、介護療養型医療施設 14.6 人、介護老人保健施設（介護療養型）13.9 人、介護老人保健施設（従来型）17.3 人、介護老人福祉施設 24.2 人であった。

図表2-1-2 定員数、入所者数、50床当たり職員数

		施設数	許可病床数 ・定員	入院患者数 ・入所者数	50床当たり職員数		
					医師	看護職員	看護補助者 ・介護職員
介護療養型医療施設		792件	54.3床	51.7人	1.8人	11.4人	14.6人
介護老人保健施設	介護療養型	26件	47.0床	44.5人	1.2人	10.6人	13.9人
	従来型	896件	91.8床	86.4人	0.6人	5.8人	17.3人
介護老人福祉施設		882件	68.5床	67.7人	0.3人	3.2人	24.2人
【参考】医療療養病床		1,341件	56.2床	52.5人	2.0人	13.9人	13.5人

(3) 全く受け入れていない患者/入所者の状態像

施設において全く受け入れていない患者/入所者の状態像についてみると、「人工透析をしている」「人工呼吸器をつけている」がいずれの施設種別においても7～8割程度に達していた。

介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設で受け入れていない割合が他の施設種別よりも高いものとしては、「気管切開」「中心静脈栄養」等があげられた。

また、「重度の認知症（徘徊を含む）」については、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設よりも、介護療養型医療施設や介護老人保健施設（介護療養型）で受け入れていない割合が高くなっていた。

図表2-1-3 全く受け入れていない患者・入所者の状態像【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	932件	211件	30件	1,006件	1,024件
気管切開をしている	22.6%	41.7%	26.7%	62.3%	74.4%
中心静脈栄養をしている	37.6%	37.9%	53.3%	83.9%	83.3%
経鼻経管栄養をしている	1.7%	7.1%	13.3%	37.6%	33.5%
胃ろう・腸ろうをしている	1.3%	10.0%	0.0%	8.3%	5.6%
インスリンを投与している	3.8%	5.7%	6.7%	8.8%	16.1%
酸素療法をしている	11.5%	14.7%	16.7%	39.0%	23.1%
人工透析をしている	84.1%	89.6%	80.0%	78.0%	72.5%
人工呼吸器をつけている	78.0%	81.0%	76.7%	89.1%	89.0%
喀痰吸引の必要がある	1.7%	4.7%	3.3%	7.9%	8.9%
重度の褥瘡がある	12.4%	12.8%	6.7%	28.2%	14.6%
感染症（MRSA、緑膿菌など）がある	8.7%	20.9%	26.7%	15.2%	15.5%
重度の認知症（徘徊を含む）の状態にある	33.0%	44.1%	30.0%	11.4%	3.4%
重篤な合併症を併発している	44.0%	46.9%	56.7%	62.7%	56.6%
当該施設での看取りを希望する	2.8%	4.3%	10.0%	29.2%	9.9%
家族や身元引受人がいない	23.0%	28.4%	13.3%	32.6%	14.5%
その他	1.5%	0.5%	3.3%	1.5%	0.8%

(4) 地域で果たす役割のうち特に重要と考えられるもの

施設が考える「地域で果たす役割のうち特に重要と考えられるもの」についてみると、介護療養型医療施設で多く選択されたのは、「長期療養」（病院 78.6%、診療所 77.3%）、「他の医療機関からの患者受入」（病院 73.8%、診療所 65.4%）、「家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）」（病院 61.2%、診療所 64.0%）などであった。

介護老人保健施設（従来型）では、「在宅復帰支援」80.8%、「家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）」76.1%、「他の医療機関からの患者受入」65.0%などであった。

介護老人福祉施設では、「日常生活支援」80.2%、「家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）」75.4%、「看取り」49.1%などであった。

図表2-1-4 地域で果たす役割のうち特に重要と考えられるもの【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	932件	211件	30件	1,006件	1,024件
他の医療機関からの患者受入	73.8%	65.4%	80.0%	65.0%	20.8%
在宅・介護施設からの急性増悪受入	37.6%	48.3%	23.3%	18.0%	18.4%
家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）	61.2%	64.0%	53.3%	76.1%	75.4%
在宅復帰支援	50.4%	34.6%	53.3%	80.8%	19.4%
長期療養	78.6%	77.3%	56.7%	22.1%	14.7%
日常生活支援	42.2%	34.1%	36.7%	58.8%	80.2%
看取り	52.6%	47.4%	53.3%	21.5%	49.1%
その他	3.0%	1.4%	6.7%	2.3%	1.8%
無回答	0.9%	2.4%	3.3%	3.5%	3.2%

2 患者/入所者の基本属性

(1) 年齢・性別

患者/入所者の年齢を見ると、いずれの施設種別も平均年齢が84歳～86歳前後であり、分布についても大きな差はなかった。

図表2-2-1 年齢・性別

		介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
		病院	診療所	介護療養型	従来型		
総 数		18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
年 齢	平均年齢	84.3歳	86.2歳	83.8歳	84.8歳	85.9歳	80.2歳
	40歳未満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
	40～64歳	3.2%	2.4%	3.6%	2.4%	1.2%	8.7%
	65～69歳	3.6%	1.3%	3.6%	3.0%	2.0%	5.4%
	70～74歳	6.4%	3.9%	7.4%	5.8%	5.2%	8.6%
	75～79歳	12.9%	8.8%	11.4%	11.9%	11.4%	14.5%
	80～84歳	19.9%	20.9%	21.8%	20.8%	19.4%	20.1%
	85～89歳	23.0%	25.0%	24.0%	24.8%	25.3%	19.5%
	90～94歳	18.2%	21.7%	14.6%	19.6%	20.7%	13.4%
	95歳以上	11.9%	14.2%	10.6%	10.9%	13.8%	7.4%
	無 回 答	0.9%	1.9%	2.8%	0.9%	1.0%	1.2%
性 別	男 性	26.7%	18.6%	28.1%	24.0%	19.9%	36.4%
	女 性	72.0%	79.4%	70.5%	74.2%	78.0%	62.3%
	不 明	1.3%	2.0%	1.4%	1.8%	2.1%	1.2%

(2) 在院・在所期間

在院・在所期間についてみると、介護老人保健施設（従来型）の在所期間が短く（平均値 18.8 カ月、中央値 11.8 カ月）、介護老人福祉施設の在所期間が長かった（平均値：46.6 カ月、中央値：32.8 カ月）。

図表2-2-2 在院／在所期間

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設	介護老人福祉施設
	病 院	診療所	従来型	
総 数	18,539 人	752 人	28,773 人	24,111 人
平均値	29.5 カ月	28.1 カ月	18.8 カ月	46.6 カ月
中央値	18.7 カ月	17.7 カ月	11.8 カ月	32.8 カ月
3 カ月未満	13.3%	13.2%	21.7%	5.2%
3 カ月以上 6 カ月未満	10.0%	9.3%	12.8%	5.4%
6 カ月以上 9 カ月未満	7.8%	9.2%	9.4%	5.1%
9 カ月以上 1 年未満	6.4%	6.9%	7.7%	4.5%
1 年以上 2 年未満	19.5%	16.6%	20.8%	17.2%
2 年以上 3 年未満	12.3%	12.0%	11.0%	14.6%
3 年以上 4 年未満	8.8%	10.2%	6.5%	11.3%
4 年以上 5 年未満	5.9%	6.1%	3.8%	8.5%
5 年以上 10 年未満	11.6%	11.2%	4.8%	19.2%
10 年以上	2.4%	1.2%	0.5%	7.3%
無 回 答	2.1%	4.1%	1.0%	1.7%

注：介護老人保健施設（介護療養型）の在所期間については、有効回答数が少ないため記載していない。

3 患者/入所者の状態像

(1) 医療区分・ADL区分

介護保険施設の患者・入所者の医療区分の構成割合をみると、介護療養型医療施設（病院）と介護老人保健施設（介護療養型）では大きな差はなく、医療区分1の患者・入所者が75%程度を占めていた。一方、介護老人保健施設（従来型）と介護老人福祉施設の入所者についても大きな差はなく、医療区分1が87%前後であった。

また、医療療養病床の患者の医療区分と比較すると、介護療養型医療施設（病院、診療所）の患者では、医療療養病床の患者よりも「医療区分1」の占める割合が高く、「医療区分2」及び「医療区分3」の割合が低かった。平成17年及び18年に実施された調査¹と比較しても、近年は医療療養病床において「医療区分3」の患者が増加しており、介護療養型医療施設と医療療養病床の機能分担が進みつつあった。

在宅療養支援病院または診療所から医師の訪問診療等を受けている在宅療養患者（以下、「在宅療養患者」という。）と、介護療養型医療施設、介護老人保健施設および介護老人福祉施設の患者及び入所者を比較すると、在宅療養患者で医療区分3の割合が高かった。

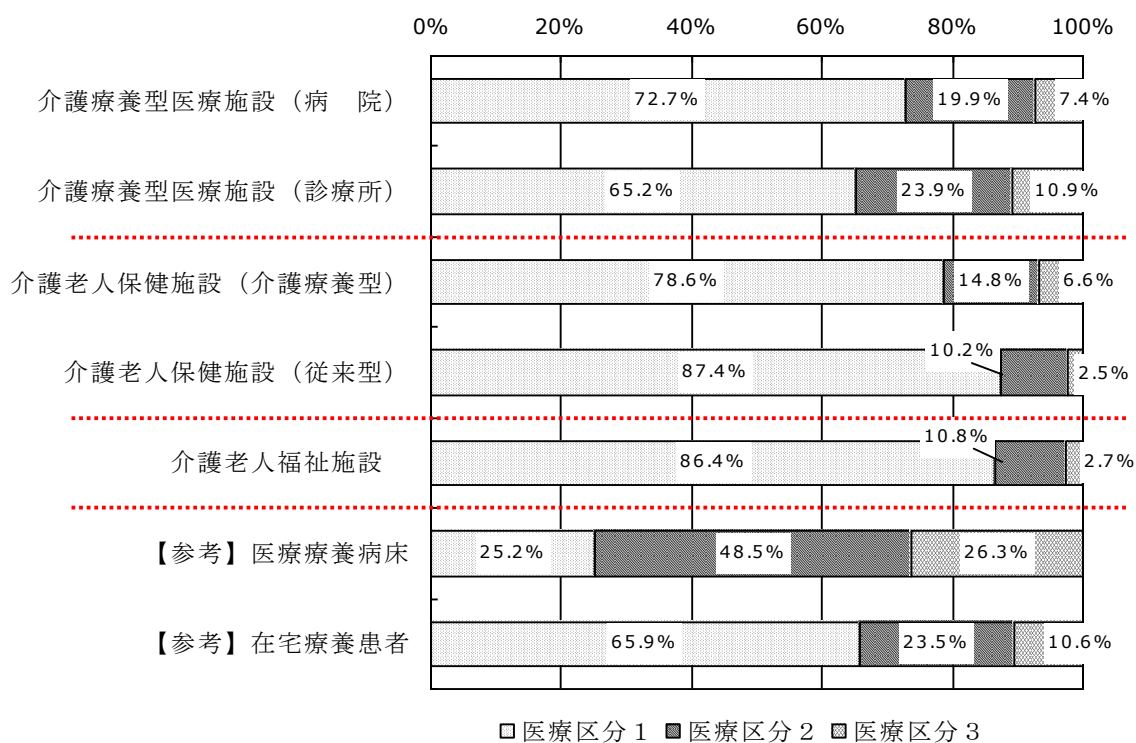
介護保険施設の患者・入所者のうち医療区分1の者のADL区分を比較すると、介護療養型医療施設（病院）と介護老人保健施設（介護療養型）はADL区分3の患者の割合が多かった。介護老人保健施設（従来型）ではADL区分1が41.7%と最も多く、介護老人福祉施設ではADL区分2が38.7%と最も多くなっていた。

図表2-3-1 医療区分・ADL区分

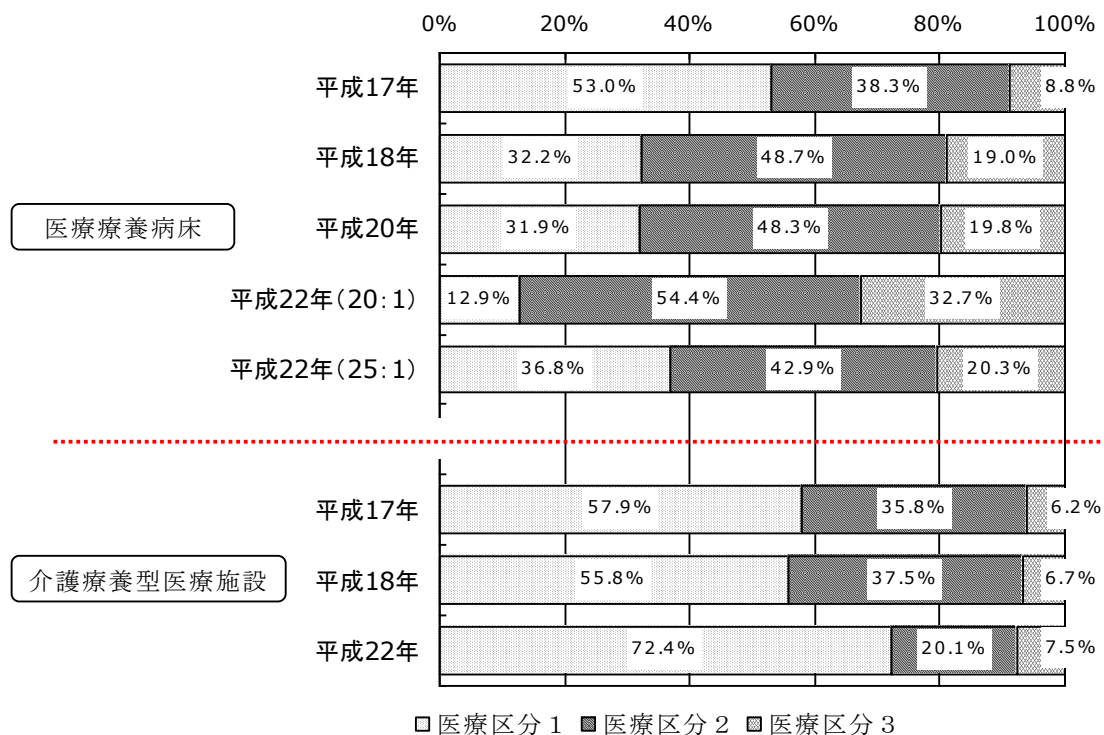
	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床	【参考】 在宅療養患者
	病院	診療所	介護療養型	従来型			
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人	4,820人
医療区分3	7.4%	10.9%	6.6%	2.5%	2.7%	26.3%	10.6%
ADL区分3	5.7%	7.6%	4.0%	1.0%	1.0%	20.8%	3.8%
ADL区分2	1.3%	2.5%	1.4%	0.8%	0.8%	3.6%	2.6%
ADL区分1	0.3%	0.4%	1.2%	0.6%	0.6%	1.7%	4.0%
無回答	0.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%
医療区分2	19.9%	23.9%	14.8%	10.2%	10.8%	48.5%	23.5%
ADL区分3	13.0%	12.1%	9.8%	2.6%	4.3%	27.4%	8.7%
ADL区分2	5.4%	8.1%	3.6%	4.2%	4.4%	13.3%	8.5%
ADL区分1	1.4%	3.5%	1.4%	3.2%	1.9%	7.4%	5.9%
無回答	0.1%	0.3%	0.0%	0.1%	0.3%	0.3%	0.4%
医療区分1	72.7%	65.2%	78.6%	87.4%	86.4%	25.2%	65.9%
ADL区分3	36.5%	24.6%	31.1%	11.9%	22.0%	10.1%	10.1%
ADL区分2	27.0%	25.5%	28.3%	32.4%	38.7%	8.2%	21.7%
ADL区分1	7.8%	14.1%	19.2%	41.7%	23.0%	6.6%	33.2%
無回答	1.4%	0.9%	0.0%	1.5%	2.7%	0.3%	0.8%

¹ 「慢性期入院医療の包括評価に関する調査」厚生労働省保険局医療課

図表2-3-2 医療区分

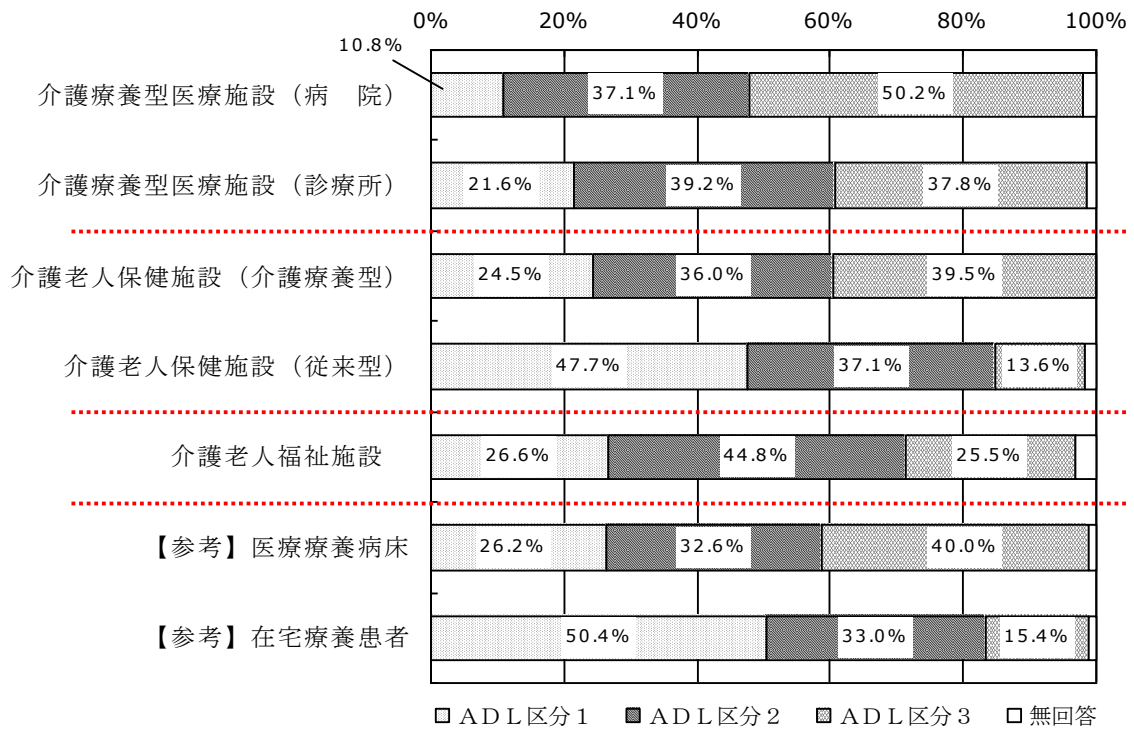


図表2-3-3 (参考) 医療区分の年次推移 (医療療養病床、介護療養型医療施設)



出典：平成18年度、平成20年度「慢性期入院医療の包括評価に関する調査報告書」

図表2-3-4 医療区分1におけるADL区分の割合



(2) 現在治療中の疾患

現在治療中の疾患をみると、いずれの施設種別においても、「脳血管疾患」、「認知症」、「心疾患」、「糖尿病」等の疾患が一定の割合で存在していた。また、介護療養型医療施設（病院）は他の施設種別と比べ「脳血管疾患」の割合が高く、介護療養型医療施設全体（病院、診療所）は他の施設種別と比べ「麻痺」、「廃用症候群」の割合が高かった。

図表2-3-5 現在治療中の疾患【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人
脳血管疾患	51.0%	39.5%	42.5%	33.7%	31.4%
骨折（大腿骨、脊髄等）	6.1%	8.9%	6.2%	8.6%	3.8%
認知症	36.9%	40.7%	21.6%	40.1%	39.4%
心疾患	24.8%	22.3%	29.5%	21.8%	20.3%
パーキンソン病関連疾患	4.3%	5.5%	4.4%	4.6%	4.7%
悪性新生物（がん）	3.2%	3.2%	2.4%	2.5%	2.1%
糖尿病	12.9%	12.8%	16.2%	12.6%	10.1%
うつ・躁うつ	4.3%	6.0%	3.0%	5.1%	5.3%
肺気腫・慢性閉塞性肺疾患	1.6%	2.5%	3.0%	1.2%	0.9%
てんかん	6.3%	5.9%	4.8%	3.0%	3.8%
慢性腎機能障害・腎不全	4.5%	4.4%	3.4%	3.4%	2.7%
肺炎（誤嚥性肺炎を含む）	5.2%	4.0%	4.8%	2.0%	1.8%
気管支喘息	2.9%	3.3%	2.6%	2.6%	3.7%
高血圧症	27.0%	33.2%	32.1%	37.9%	36.0%
麻痺	12.1%	11.8%	9.4%	6.4%	5.8%
廃用症候群	23.3%	30.2%	16.0%	8.6%	6.8%
疾患は特になし	2.0%	0.8%	7.2%	3.1%	4.4%
その他	17.0%	18.6%	14.6%	20.3%	24.3%
無回答	0.9%	1.9%	1.2%	2.5%	4.3%

(3) 要介護度

患者/入所者の平均要介護度は、介護療養型医療施設（病院）4.4、介護療養型医療施設（診療所）4.1、介護老人保健施設（介護療養型）4.1、介護老人保健施設（従来型）3.3、介護老人福祉施設 3.9 であった。

図表2-3-6 要介護度

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人
未申請・申請中	0.7%	2.8%	1.0%	0.3%	0.1%
要介護	98.6%	95.7%	98.2%	98.6%	99.0%
要介護1	1.0%	4.4%	4.4%	8.7%	2.9%
要介護2	2.9%	7.2%	7.2%	17.4%	8.1%
要介護3	9.3%	11.2%	11.4%	25.7%	20.3%
要介護4	26.5%	25.0%	26.5%	27.0%	32.8%
要介護5	58.8%	48.0%	48.7%	19.7%	34.8%
不明	0.2%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.5%	0.4%	0.8%	1.1%	1.0%
平均要介護度	4.4	4.1	4.1	3.3	3.9

(4) 認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度をみると、介護療養型医療施設（病院、診療所）、介護老人保健施設（介護療養型）では、区分Ⅳと区分Ⅴの合計が半数程度を占めていた。一方、介護老人保健施設（従来型）は区分Ⅱ、Ⅲが多く、介護老人福祉施設は区分Ⅲ、Ⅳが多かった。

図表2-3-7 認知症高齢者の日常生活自立度

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人
自立	2.3%	6.5%	3.6%	5.2%	2.7%
区分Ⅰ	2.6%	7.3%	8.0%	10.3%	4.8%
区分Ⅱ	9.2%	13.2%	16.8%	27.6%	18.0%
区分Ⅲ	33.0%	23.1%	24.8%	38.3%	38.5%
区分Ⅲ a	23.0%	14.4%	17.8%	28.0%	26.9%
区分Ⅲ b	10.1%	8.8%	7.0%	10.3%	11.6%
区分Ⅳ	41.9%	39.9%	33.9%	15.4%	29.8%
区分Ⅴ	8.5%	6.9%	12.0%	2.2%	4.6%
無回答	2.4%	3.1%	0.8%	0.9%	1.6%

(5) 医療の提供状況等

医療の提供状況等についてみると、介護療養型医療施設（病院、診療所）、介護老人保健施設（介護療養型）では、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」「喀痰吸引を実施している状態」の割合が他の施設種別よりも高くなっていた。介護老人福祉施設では医療の提供状況等の割合は低いものの、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」は10%を超えていた。

図表2-3-8 医療の提供状況【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
中心静脈栄養を実施している状態	0.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.1%	6.9%
人工呼吸器を使用している状態（1日5時間以上）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
気管切開又は気管内挿管が行われている状態	1.7%	1.5%	3.0%	0.1%	0.1%	11.0%
酸素療法を実施している状態	2.8%	2.1%	2.2%	0.5%	0.8%	15.2%
喀痰吸引を実施している状態	18.5%	14.2%	13.8%	2.5%	4.4%	31.8%
経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態	36.9%	29.5%	34.5%	7.6%	10.9%	31.5%

(6) 過去7日間の服薬、検査の状況

過去7日間に内服した薬剤の種類数を見ると、いずれの施設種別においても4～6種類の薬剤を内服している利用者の割合が最も高かった。

図表2-3-9 薬剤の種類数

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
なし	3.2%	2.0%	2.6%	2.8%	2.2%	4.6%
1～3種類	33.4%	28.2%	29.1%	30.7%	28.3%	25.7%
4～6種類	35.3%	29.9%	30.5%	35.4%	33.7%	31.8%
7～9種類	14.6%	14.5%	9.0%	15.5%	15.4%	17.7%
10種類以上	4.3%	7.7%	4.0%	4.1%	5.2%	7.9%
無回答	9.2%	17.7%	24.8%	11.4%	15.2%	12.3%
平均値(薬剤の種類数)	4.5	5.0	4.3	4.6	4.8	5.0

過去7日間に実施した検体検査、生体検査、X線単純撮影、CT・MRIの件数をみると、介護療養型医療施設(病院、診療所)においては、他の施設種別と比べて検体検査を実施している者の割合が高く、それぞれ13.4%、18.2%となっていた。

図表2-3-10 検査の内容

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
検体検査(尿・血液等)	13.4%	18.2%	5.4%	4.8%	4.1%	21.3%
生体検査(超音波・内視鏡等)	0.8%	2.1%	0.0%	0.2%	0.2%	1.8%
X線単純撮影	5.4%	7.2%	2.0%	1.4%	2.1%	8.6%
CT・MRI	1.6%	0.4%	1.2%	0.5%	0.5%	3.7%

4 入院/入所時の状況

(1) 入院/入所前の居場所

入院/入所前の居場所を見ると、介護療養型医療施設（病院）、介護老人保健施設（介護療養型）については自宅から入院/入所した人は1割程度であり、一般病棟や医療療養病棟、介護療養型医療施設から入院・入所した人が8割程度を占めた。

介護老人保健施設（従来型）については、自宅から入所した人が25.8%、一般病棟から入所した人が45.1%であった。介護老人福祉施設については、自宅から入所した人が38.3%、介護老人保健施設から入所した人が27.1%であった。なお、介護老人福祉施設に自宅から入所した者のうち日中・夜間とも介護者がいない者は23.3%であった。

図表2-4-1 入院/入所前の居場所

		介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
		病院	診療所	介護療養型	従来型	
総数		18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人
自宅（家族等との同居も含む）		10.8%	31.3%	9.6%	25.8%	38.3%
自宅の介護者の有無	日中、夜間ともに介護者がいない	5.4%	17.8%	6.6%	13.1%	23.3%
	夜間のみ、介護者がいる	1.6%	4.7%	1.4%	5.5%	6.3%
	日中のみ、介護者がいる	0.2%	0.7%	0.2%	0.3%	0.5%
	日中、夜間とも介護者がいる	2.0%	4.9%	1.0%	4.3%	4.0%
	不明	0.6%	0.7%	0.0%	0.4%	0.9%
	その他	0.2%	0.8%	0.4%	0.3%	0.3%
	無回答	0.9%	1.7%	0.0%	1.8%	3.0%
自院/同一法人の一般病棟		19.0%	11.2%	17.2%	15.9%	1.1%
自院/同一法人の医療療養病棟		12.5%	1.3%	15.4%	4.8%	0.7%
自院/同一法人の介護療養型医療施設		1.2%	0.1%	16.0%	1.7%	0.6%
自院/同一法人のその他の病棟		1.8%	0.3%	3.0%	2.4%	0.4%
その他の医療機関の一般病棟		38.5%	36.0%	19.8%	29.2%	11.4%
その他の医療機関の医療療養病棟		2.5%	1.3%	2.4%	2.8%	3.1%
その他の医療機関の介護療養型医療施設		1.3%	1.2%	1.2%	1.3%	3.1%
その他の医療機関のその他の病棟		3.1%	2.8%	2.2%	3.8%	3.0%
介護老人保健施設		4.5%	6.6%	6.8%	7.4%	27.1%
介護老人福祉施設		1.3%	2.0%	1.4%	1.0%	1.5%
その他の介護施設		1.7%	4.3%	1.6%	2.7%	7.2%
その他		0.3%	0.5%	0.6%	0.2%	0.8%
無回答		1.4%	1.1%	2.6%	1.2%	1.7%

(2) 入院・入所時の理由

入院・入所時の理由をみると、介護療養型医療施設（病院）、介護老人保健施設（介護療養型）においては、「急性期状態が安定したため」という理由が多かった。また、「在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難または介護者不在のため」に入院/入所した人の割合は、介護療養型医療施設（診療所）40.8%、介護老人保健施設（介護療養型）41.5%、介護老人保健施設（従来型）で48.8%、介護老人福祉施設で61.9%となっていた。

また、「上記以外で、本人、家族が強く希望するため」という理由は、介護療養型医療施設（診療所）19.9%、介護老人福祉施設 24.2%が他の施設種別よりも比較的高くなっていた。

図表2-4-2 入院/入所時の理由【MA】

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設
	病 院	診 療 所	介 護 療 養 型	従 来 型	
総 数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人
疾病が急性発症、又は急性増悪したため	6.4%	10.5%	1.0%	1.3%	1.4%
継続的な高度な医療管理が必要なため	5.1%	7.3%	5.2%	2.0%	0.6%
疾病の急性期状態が安定したため	54.7%	37.8%	43.9%	32.9%	13.9%
継続的なリハビリが必要なため	29.8%	19.0%	33.1%	38.4%	2.0%
他の医療施設もしくは介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため	18.3%	22.7%	27.9%	16.9%	8.6%
在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療・介護サービスが確保できないため	2.7%	2.7%	2.4%	2.8%	5.8%
在宅療養でも対応できるが、住宅改修等の住環境の整備ができないため	1.1%	2.1%	2.6%	3.3%	6.0%
在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため	23.3%	40.8%	41.5%	48.8%	61.9%
上記以外で、本人、家族等が強く希望するため	7.8%	19.9%	3.8%	10.0%	24.2%
その他	1.7%	1.1%	3.4%	1.7%	3.3%
無回答	1.3%	0.9%	3.4%	2.3%	3.6%

5 今後の生活・療養の場の見通し

(1) 30日後の病状の見通し

施設職員が判断する30日後の病状の見通しについては、いずれの施設においても「不変」が80%程度を占めた。また、介護療養型医療施設（病院、診療所）では「悪化」の割合が他の施設種別に比べて若干高くなっていた。

図表2-5-1 30日後の病状の見通し

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
治癒	0.7%	1.1%	0.2%	1.3%	1.9%	1.1%
軽快※	7.0%	6.3%	7.2%	9.1%	4.9%	11.1%
不変※	83.1%	80.9%	86.2%	81.5%	81.4%	76.0%
悪化※	7.1%	8.0%	4.2%	4.5%	4.9%	8.6%
ターミナルケアを実施する状態	1.1%	2.5%	1.8%	0.7%	1.5%	2.0%
無回答	1.0%	1.3%	0.4%	2.8%	5.3%	1.2%

※軽快：医療処置の必要性が減少、又は医学的管理の必要性が低下
 不変：医療処置の必要性および医学的管理の必要性が現状維持される
 悪化：医療処置の必要性が増加、又は医学的管理の必要性が上昇

(2) 最も適切と考えられる生活・療養の場

患者/入所者の病状を踏まえた上で、医療と介護の必要度から、施設側が最も適切と考える今後の療養先については、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において、「現在の場所が適切」が最も多かった。

介護老人保健施設（従来型）の入所者については、「介護老人福祉施設が適切」40.6%が最も多く、次いで「現在の場所（介護老人保健施設）が適切」29.0%「自宅が適切」16.0%の順となった。

図表2-5-2 最も適切と考えられる生活・療養の場

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
自宅（家族等との同居も含む）	5.5%	8.2%	15.2%	16.0%	2.0%	11.3%
介護老人福祉施設	17.2%	14.1%	17.4%	40.6%	<u>89.4%</u>	9.0%
介護老人保健施設	7.1%	5.6%	<u>50.9%</u>	<u>29.0%</u>	0.8%	7.6%
その他の介護施設	2.1%	2.1%	1.0%	5.1%	0.6%	2.5%
一般病棟	0.7%	1.2%	0.0%	0.4%	0.6%	1.2%
医療療養病棟	7.9%	5.5%	6.2%	2.8%	1.4%	<u>57.3%</u>
介護療養型医療施設	<u>57.9%</u>	<u>61.6%</u>	7.2%	4.2%	1.4%	8.6%
その他の病棟	0.3%	0.7%	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%
その他	0.1%	0.3%	1.2%	0.2%	0.1%	0.6%
無回答	1.2%	0.8%	0.6%	1.4%	3.5%	1.5%

注：下線部は、各施設における「現在の場所」を示す。

介護保険施設の患者/入所者について、「施設が最も適切と考える生活・療養の場」での生活・療養の見通しが立っているか、また見通しが立たない場合その理由は何かについて尋ねたところ、以下の通りとなった。

「介護療養型医療施設」「介護老人保健施設」「介護老人福祉施設」が適切と判断された患者/入所者のうち、その場所での生活・療養の見通しが立っていないのはそれぞれ16.7%、26.0%、36.3%であった。見通しが立たない理由としては、いずれも「空床がない」が最も多く、それぞれ57.6%、63.3%、83.5%であり、特に介護老人福祉施設が適切でありながら空床待ちのために見通しがたっていない者が多いことがうかがわれた。

また、「自宅が適切」と判断された患者・入所者のうち、見通しが立っていないのは68.1%であり、見通しが立たない理由としては「家族の介護困難」63.8%が最も多く、次いで「本人・家族に退院・退所後の不安がある」41.0%となっていた。

図表2-5-3 最も適切と考えられる場での生活の見通しと見通しが立たない理由

	介護療養型医療施設 が適切	介護老人保健施設 が適切	介護老人福祉施設 が適切	自宅が適切
総 数	12,774 人	10,146 人	36,613 人	6,251 人
上記場所での生活の見通し				
見通しが立っている	79.9%	68.9%	59.2%	26.6%
見通しが立っていない	16.7%	26.0%	36.3%	68.1%
無回答	3.4%	5.0%	4.5%	5.3%
総 数 (見通しが立っていない)	2,131 人	2,639 人	13,282 人	4,256 人
見通しが立たない理由【MA】				
空床がない	57.6%	63.3%	83.5%	0.0%
医療処置の提供が困難	7.9%	3.7%	3.1%	0.5%
家族の介護困難	1.3%	1.8%	1.0%	63.8%
退院・退所後の不安	11.7%	13.2%	6.2%	41.0%

(3) 本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望

施設が把握している範囲での本人及び家族の今後の生活・療養の場に関する希望については、以下の通りとなった。これらは、施設が把握している範囲の情報（カルテの情報等）を施設が回答したものであるため、解釈にあたっては留意が必要である。

① 本人の希望

本人の希望についてみると、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において「意思表示不能」と「希望は把握していない」の合計が5割を超えた。

本人が「現在の場所での療養を希望」する割合は、介護老人福祉施設、介護療養型医療施設（診療所）で30%程度であり、他の施設種別では20%程度であった。

本人が「自宅での療養を希望」する割合は、介護老人保健施設（従来型）で23.7%、他の施設種別においては10%程度であった。

図表2-5-4 本人の今後の生活・療養の場に関する希望

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
意思表示不能	56.8%	49.3%	49.7%	31.2%	40.1%	49.9%
希望は把握していない	13.3%	6.5%	7.8%	15.4%	14.2%	14.9%
現在の療養場所での療養を希望	17.8%	29.5%	21.8%	21.5%	33.2%	17.5%
自宅での療養を希望	9.2%	12.8%	14.2%	23.7%	7.3%	12.9%
(他の)医療機関での療養を希望	0.1%	0.1%	0.4%	0.4%	0.1%	0.4%
(他の)介護老人保健施設での療養を希望	0.5%	0.8%	1.8%	1.1%	0.3%	1.2%
(他の)介護老人福祉施設での療養を希望	0.8%	0.4%	0.6%	3.8%	0.9%	0.7%
その他の介護施設での療養を希望	0.2%	0.1%	0.4%	0.7%	0.1%	0.6%
その他	0.3%	0.0%	1.8%	0.5%	0.3%	0.6%
無回答	0.9%	0.4%	1.4%	1.6%	3.6%	1.3%

② 家族の希望

家族の希望についてみると、全ての施設種別において「現在の場所での療養を希望」する割合が高く、特に介護療養型医療施設（診療所）、介護老人福祉施設では8割を超えた。

介護老人保健施設（従来型）においては、「介護老人福祉施設」での療養を希望するものが29.8%と、他の施設種別に比べ高かった。いずれの施設種別においても「現在の場所での療養を希望」に次いで「介護老人福祉施設」を希望する割合が高く、退院/退所後は介護老人福祉施設に入所したいと考える家族が多いことがうかがわれた。

なお、家族が「自宅での療養を希望する割合」は介護老人保健施設（従来型）では6.5%であったが、他の施設種別においては5%に満たなかった。

図表2-5-5 家族の今後の生活・療養の場に関する希望

	介護療養型医療施設		介護老人保健施設		介護老人福祉施設	【参考】 医療療養病床
	病院	診療所	介護療養型	従来型		
総数	18,539人	752人	499人	28,773人	24,111人	33,020人
家族はいない	1.8%	2.8%	1.4%	1.5%	2.0%	2.8%
希望は把握していない	3.9%	2.4%	1.0%	4.2%	4.4%	8.3%
現在の療養場所での療養を希望	77.1%	83.2%	80.0%	48.0%	86.0%	67.1%
自宅での療養を希望	2.3%	3.3%	3.4%	6.5%	0.2%	6.4%
(他の)医療機関での療養を希望	0.7%	0.1%	1.6%	1.0%	0.6%	2.0%
(他の)介護老人保健施設での療養を希望	3.6%	2.4%	3.6%	3.6%	0.7%	5.0%
(他の)介護老人福祉施設での療養を希望	8.3%	4.3%	5.6%	29.8%	2.2%	4.5%
その他の介護施設での療養を希望	1.0%	0.7%	1.4%	2.5%	0.0%	1.7%
その他	0.5%	0.5%	1.8%	1.0%	0.2%	1.0%
無回答	0.8%	0.3%	0.2%	1.9%	3.6%	1.2%

第3章 まとめ

1 施設の概況

本調査の回答施設における職員配置を施設種別にみると、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）、介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設の順に医療スタッフ（医師、看護職員）の配置が手厚くなっている一方で、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設では介護職員の配置が手厚くなっていた。

各施設種別ごとに受入困難な患者等の状態像をみると、全ての施設種別において、「人工透析」や「人工呼吸器」を利用している者の受け入れは困難であった。また、介護老人保健施設（従来型）、介護老人福祉施設では、「気管切開」や「中心静脈栄養」等が受入困難な傾向がみられた。一方で、「重度の認知症（徘徊を含む）」については、介護老人保健施設（従来型）や介護老人福祉施設の方が、介護療養型医療施設や介護老人保健施設（介護療養型）よりも受け入れ可能な傾向がみられた。

施設の地域で果たす役割についてみると、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）では「長期療養」や「他の医療機関からの患者受入」などであった。介護老人保健施設（従来型）は「在宅復帰支援」が最も多く、介護老人福祉施設では「日常生活支援」、「家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）」、「看取り」などであった。

2 患者/入所者の状態像

患者等の医療区分の構成割合をみると、介護療養型医療施設の入院患者の状態像は、医療療養病床の入院患者と比べて、高度な医療を必要としない医療区分1の占める割合が高く、介護療養型医療施設と医療療養病床の機能分担が進みつつあった。また、介護療養型医療施設と介護老人保健施設（介護療養型）では大きな差はなく、医療区分1の患者・入所者が75%程度を占めていた。一方、介護老人保健施設（従来型）と介護老人福祉施設の入所者についても大きな差はなく、医療区分1が87%程度であった。なお、現在治療中の疾患をみると、介護療養型医療施設は他の施設種別と比べて「脳血管疾患」、「麻痺」、「廃用症候群」などの割合が高くなっていた。

患者等の平均要介護度は、介護療養型医療施設（病院）4.4、介護療養型医療施設（診療所）4.1、介護老人保健施設（介護療養型）4.1、介護老人保健施設（従来型）3.3、介護老人福祉施設3.9であった。さらに、認知症高齢者の日常生活自立度の構成割合をみると、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）ではⅣとⅢの合計が半数程度、介護老人福祉施設ではⅢとⅣが多くみられる一方で、介護老人保健施設（従来型）はⅡとⅢが多くみられた。

医療の提供状況等についてみると、介護療養型医療施設で提供されている医療処置に

については、医療療養病床と比較して、「人工呼吸器」、「中心静脈栄養」などの一定の危険性を伴った医療処置の割合が低く、「喀痰吸引」、「経管栄養」などの医療処置は同程度実施されていた。また、介護療養型医療施設、介護老人保健施設（介護療養型）では、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」、「喀痰吸引を実施している状態」の割合が他の施設種別よりも高くなっていた。一方、介護老人福祉施設ではほぼ全ての項目で医療の提供状況等の割合は低くなっていたが、「経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態」は10%を超えていた。

3 入院/入所時の状況と今後の見通し

施設職員が判断する患者等の30日後の病状の見通しについては、全ての施設においても「不変」が80%程度を占めた。ただし、介護療養型医療施設では「悪化」の割合が他の施設種別に比べて若干高くなっていた。

また、患者等の病状を踏まえた上で、医療と介護の必要度から、施設側が最も適切と考える今後の療養先については、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において、「現在の場所が適切」が最も多く、介護老人保健施設（従来型）は、介護老人福祉施設との回答割合が高かった。

さらに、施設が最も適切と考える生活・療養の場について、自宅以外の施設（介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人福祉施設）が適切なのにも関わらず見通しが立たない理由としては、いずれも「空床がない」が最も多くみられた。特に介護老人福祉施設が適切でありながら空床待ちのために見通しがたっていない者が多くみられた。

また、自宅が適切と判断されたにも関わらず見通しが立たない理由としては「家族の介護困難」、「本人・家族に退院・退所後の不安がある」の順であった。

今後の生活・療養の場に関する本人の希望についてみると、介護老人保健施設（従来型）を除く全ての施設種別において「意思表示不能」と「希望は把握していない」の合計が5割を超えた。ただし、本人が「現在の場所での療養を希望」する割合は、介護老人福祉施設、介護療養型医療施設（診療所）で30%程度であり、他の施設種別では20%程度であった。本人が「自宅での療養を希望」する割合は、介護老人保健施設（従来型）で23.7%、他の施設種別においては10%程度であった。

家族の希望についてみると、全ての施設種別において「現在の場所での療養を希望」する割合が高く、特に介護療養型医療施設、介護老人福祉施設では8割を超えた。

介護老人保健施設（従来型）においては、「介護老人福祉施設」での療養を希望するのが29.8%と、他の施設種別に比べて高かった。いずれの施設種別においても「現在の場所での療養を希望」に次いで「介護老人福祉施設」を希望する割合が高く、退院/退所後は介護老人福祉施設に入所したいと考える家族が多いことがうかがわれた。

資料編（調査票）

施設特性調査票＜介護施設＞	- 31 -
施設特性調査票＜医療機関＞	- 33 -
入所者特性調査票＜特別養護老人ホーム＞	- 35 -
入所者特性調査票＜老人保健施設＞	- 39 -
患者特性調査票＜医療機関＞	- 43 -

施設特性調査票

介護施設

■ 回答者の名前と連絡先をご記入ください。

ご担当者氏名		部署・役職	
電話番号		ファクス番号	
施設名			
住所	〒		

問1 貴施設の開設主体について、該当するもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 01 国 | 05 社会保険関係団体 | 09 社団・財団法人 |
| 02 都道府県 | 06 広域連合・一部事務組合 | 10 その他の法人 |
| 03 市区町村 | 07 医療法人 | 11 個人 |
| 04 公的（日赤・済生会等） | 08 社会福祉法人 | |

問2 貴施設に併設する施設・事業所について、該当するもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 01 併設なし | 07 認知症グループホーム | 12 訪問看護事業所 ^{注3} |
| 02 病院 | 08 その他の介護施設（ケア付き住宅等） ^{注1} | 13 訪問介護事業所 |
| 03 有床診療所 | 09 短期入所事業所（ショートステイ） ^{注2,3} | 14 訪問リハビリテーション事業所 ^{注3} |
| 04 無床診療所 | 10 通所介護事業所（デイサービス） | 15 その他の居宅介護サービス |
| 05 介護老人保健施設 | 11 通所リハビリテーション事業所（デイケア） ^{注3} | 16 その他（ ） |
| 06 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | | |

問3 貴施設の定員・入所者数・所属する職員数（常勤換算・小数点第一位まで）をご記入ください。

施設種別		定員	入所者数	医師	看護職員	介護職員
老健	① 介護老人保健施設	人	人	人	人	人
	② 介護療養型老人保健施設	人	人	人	人	人
特養	③ 介護老人福祉施設	人	人	人	人	人
	④ 地域密着型介護老人福祉施設	人	人	人	人	人

問4 平成20年4月以降に療養病床等の病床から転換して開設された施設である場合は、転換前の医療機関の種類について該当するもの全てに○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------|
| 01 介護療養型医療施設 | 03 一般病棟 |
| 02 医療療養病棟 | 04 その他の病棟 |

注1：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅 等

注2：短期入所生活介護事業所および短期入所療養介護事業所

注3：みなし指定を含む。

問5 貴施設において、**全く受け入れていない入所者**として該当するもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------------------------|-------------------|
| 01 気管切開をしている | 07 人工透析をしている | 13 重篤な合併症を併発している |
| 02 中心静脈栄養をしている | 08 人工呼吸器をつけている | 14 当該施設での看取りを希望する |
| 03 経鼻経管栄養をしている | 09 喀痰吸引の必要がある | 15 家族や身元引受人がない |
| 04 胃ろう・腸ろうをしている | 10 重度の褥瘡がある | 16 その他 () |
| 05 インスリンを投与している | 11 感染症 (MRSA、緑膿菌など) がある | |
| 06 酸素療法をしている | 12 重度の認知症 (徘徊を含む) の状態にある | |

問6 貴施設が地域で果たす役割のうち、**特に重要と考えるもの**全てに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 01 医療機関からの患者受入 | 05 長期療養 |
| 02 在宅・介護施設からの急性増悪者受入 | 06 日常生活支援 |
| 03 家族への支援 (レスパイト・介護困難者の支援) | 07 看取り |
| 04 在宅復帰支援 | 08 その他 () |

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

施設特性調査票

医療機関

■ 回答者の名前と連絡先をご記入ください。

ご担当者氏名		部署・役職	
電話番号		ファクス番号	
施設名			
住所	〒		
施設形態	病院・診療所 ← 該当する方に○をつけてください。		

問1 貴院の開設主体について、該当するもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|------------|
| 01 国 | 05 社会保険関係団体 | 09 社団・財団法人 |
| 02 都道府県 | 06 広域連合・一部事務組合 | 10 その他の法人 |
| 03 市区町村 | 07 医療法人 | 11 個人 |
| 04 公的（日赤・済生会等） | 08 社会福祉法人 | |

問2 貴院に併設する施設・事業所について、該当するもの全てに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|
| 01 併設なし | 07 認知症グループホーム | 12 訪問看護事業所 ^{注3} |
| 02 病院 | 08 その他の介護施設（ケア付き住宅等） ^{注1} | 13 訪問介護事業所 |
| 03 有床診療所 | 09 短期入所事業所（ショートステイ） ^{注2,3} | 14 訪問リハビリテーション事業所 ^{注3} |
| 04 無床診療所 | 10 通所介護事業所（デイサービス） | 15 その他の居宅介護サービス |
| 05 介護老人保健施設 | 11 通所リハビリテーション事業所（デイケア） ^{注3} | 16 その他（ ） |
| 06 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | | |

問3 貴院の病床数・入院患者数・所属する職員数（常勤換算・小数点第一位まで）をご記入ください。

病棟種別		許可病床数	入院患者数	専従医師	看護職員	看護補助者・介護職員
医療	① 医療療養病棟（病院・20：1）	床	人	人	人	人
	② 医療療養病棟（病院・25：1）	床	人	人	人	人
	③ 医療療養病床（診療所）	床	人	人	人	人
	④ 一般病棟（病院・13：1）	床	人	人	人	人
	⑤ 一般病棟（病院・15：1）	床	人	人	人	人
	⑥ 一般病床（診療所）	床	人	人	人	人
	⑦ 障害者施設（7：1）	床	人	人	人	人
	⑧ 障害者施設（10：1）	床	人	人	人	人
	⑨ 障害者施設（13：1）	床	人	人	人	人
	⑩ 障害者施設（15：1）	床	人	人	人	人
	⑪ 特殊疾患病棟 ^{注4}	床	人	人	人	人
	⑫ 上記以外の病棟	床	人	人	人	人
介護	⑬ 介護療養型医療施設	床	人	人	人	人
	⑭ 老人性認知症疾患療養病棟	床	人	人	人	人

注1：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅 等。

注2：短期入所生活介護事業所および短期入所療養介護事業所。

注3：みなし指定を含む。

注4：特殊疾患入院医療管理料を算定している病室を含む。

《問3①～③に該当する病棟（医療療養病棟等）がある場合のみご回答ください。》

問4 貴院の医療療養病棟等で、 全く受け入れていない患者 として該当するもの全てに○をつけてください。		
01 気管切開をしている	07 人工透析をしている	13 重篤な合併症を併発している
02 中心静脈栄養をしている	08 人工呼吸器をつけている	14 当該施設での看取りを希望する
03 経鼻経管栄養をしている	09 喀痰吸引の必要がある	15 家族や身元引受人がない
04 胃ろう・腸ろうをしている	10 重度の褥瘡がある	16 その他 ()
05 インスリンを投与している	11 感染症（MRSA、緑膿菌など）がある	
06 酸素療法をしている	12 重度の認知症（徘徊を含む）の状態にある	
問5 貴院の 医療療養病棟等 が地域で果たす役割のうち、 特に重要と考える もの全てに○をつけてください。		
01 他の医療機関からの患者受入	05 長期療養	
02 在宅・介護施設からの急性増悪者受入	06 日常生活支援	
03 家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）	07 看取り	
04 在宅復帰支援	08 その他 ()	

《問3④または⑤に該当する病棟（13:1又は15:1一般病棟）がある場合のみご回答ください。》

問6 貴院の 救急医療体制 についておうかがいします。		
① 救急告示（○は1つ）	01 一次	03 三次
	02 二次	04 なし
② 24時間の救急対応の可否（○は1つ）	01 ほぼ毎日可能	03 週1～2日可能
	02 週3～5日可能	04 ほぼ不可能
③ 平成22年5月中に受け入れた救急車の件数		件
④ 平成22年5月中に診療時間外に受診した患者の延数		人
⑤ ④のうち、緊急入院した患者の延数【再掲】		人
問7 貴院の 手術の実施状況 についておうかがいします。		
① 平成22年5月中に実施した手術の件数		件
② ①のうち、全身麻酔（静脈麻酔は除く）を実施した件数【再掲】		件
③ ①のうち、腰椎麻酔（静脈麻酔は除く）を実施した件数【再掲】		件

《問3⑬に該当する病棟（介護療養型医療施設）がある場合のみご回答ください。》

問8 貴院の介護療養型医療施設で、 全く受け入れていない患者 として該当するもの全てに○をつけてください。		
01 気管切開をしている	07 人工透析をしている	13 重篤な合併症を併発している
02 中心静脈栄養をしている	08 人工呼吸器をつけている	14 当該施設での看取りを希望する
03 経鼻経管栄養をしている	09 喀痰吸引の必要がある	15 家族や身元引受人がない
04 胃ろう・腸ろうをしている	10 重度の褥瘡がある	16 その他 ()
05 インスリンを投与している	11 感染症（MRSA、緑膿菌など）がある	
06 酸素療法をしている	12 重度の認知症（徘徊を含む）の状態にある	
問9 貴院の 介護療養型医療施設 が地域で果たす役割のうち、 特に重要と考える もの全てに○をつけてください。		
01 他の医療機関からの患者受入	05 長期療養	
02 在宅・介護施設からの急性増悪者受入	06 日常生活支援	
03 家族への支援（レスパイト・介護困難者の支援）	07 看取り	
04 在宅復帰支援	08 その他 ()	

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

入所者特性調査票

特別養護老人ホーム

◆本調査は、医療施設・介護施設を利用する方々への横断的な調査であるため、各設問において貴施設に該当しない選択肢があり得ますが、最も適当と考えられるものについてご記入下さい。

I 入所者の基本情報			連番 記入欄
1 性別	01 男 02 女	2 年齢	満 歳 (平成 22 年 6 月 23 日時点)
3 入所日	(昭和・平成) 年 月		
4 入所時の理由 【該当する全てに○】	01 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 02 継続的な高度な医療管理が必要なため 03 疾病の急性期状態が安定したため 04 継続的なリハビリが必要なため 05 医療施設もしくは他の介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 06 在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療・介護サービスが確保できないため 07 在宅療養でも対応できるが、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 上記以外で、本人、家族等が強く希望するため 10 その他 ()		
5 入所前の居場所 【○を1つ】	01 自宅（家族等との同居も含む） 02 同一法人 ^{注1} の一般病棟 03 同一法人の医療療養病棟 04 同一法人の介護療養型医療施設 ^{注2} 05 同一法人のその他の病棟 06 その他の医療機関の一般病棟 07 その他の医療機関の医療療養病棟		08 その他の医療機関の介護療養型医療施設 09 その他の医療機関のその他の病棟 10 介護老人保健施設 11 他の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 12 その他の介護施設 ^{注3} 13 その他 ()
	≪01 の場合、自宅での介護者の有無について該当するもの1つに○をつけてください≫ 01 日中、夜間とも介護ができる人がいない（介護者が病気等により介護できない場合も含む） 02 夜間のみ、介護ができる人がいる 03 日中のみ、介護ができる人がいる 04 日中、夜間とも介護ができる人がいる 05 不明 06 その他 ()		

注1：貴施設と同一の法人、または関連する法人によって運営されている医療機関。

注2：老人性認知症疾患療養病棟を含む。

注3：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、認知症グループホーム等。

II 入所者の状態等

6 現在治療中の疾患 【該当する全てに○】 ※内服のみのものも含みます。ただし、現在治療していない既往歴は含めないでください。	01 脳血管疾患	07 糖尿病	13 気管支喘息
	02 骨折（大腿骨、脊髄等）	08 うつ・躁うつ	14 高血圧症
7 要介護度 【○を1つ】	03 認知症	09 肺気腫・慢性閉塞性肺疾患	15 麻痺
	04 心疾患	10 てんかん	16 廃用症候群
8 認知症高齢者の日常生活自立度 【○を1つ】	05 パーキンソン病関連疾患	11 慢性腎機能障害・腎不全	17 疾患は特になし
	06 悪性新生物（がん）	12 肺炎（誤嚥性肺炎を含む）	18 その他 ()
≪02～09 の場合、その要介護度の認定時期として該当する方をお選びください≫ 01 認定を受けて3カ月以内 02 認定を受けて3カ月以上経過			
≪別添の記入要領に基づきご記入ください≫ 01 自立 02 I 03 II 04 IIIa 05 IIIb 06 IV 07 M			

Ⅲ 今後の生活・療養の場の見通し等

想定できる範囲で記入してください。

9 30日後の病状の見通し 【0を1つ】	01 治癒 02 軽快：医療処置の必要性が減少、又は医学的管理の必要性が低下 03 不変：医療処置の必要性および医学的管理の必要性が現状維持される 04 悪化：医療処置の必要性が増加、又は医学的管理の必要性が上昇 05 ターミナルケアを実施する状態
10 最も適切と考えられる生活・療養の場 【0を1つ】	<p>《前問9の病状を踏まえた上で、最も適切と考えられる今後の生活・療養の場を1つお選びください。》</p> 01 自宅（家族等との同居も含む） 02 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） （自施設・他施設を問わず） 03 介護老人保健施設 04 その他の介護施設 05 一般病棟 06 医療療養病棟 07 介護療養型医療施設 08 その他の病棟 09 その他（ ）
11 今後の生活・療養の場の見通し 【0を1つ】	01 現時点で、前問10で回答した場所で生活・療養する見通しが立っている 02 現時点で、前問10で回答した場所で生活・療養する見通しが立っていない <p>《02と回答した場合、見通しが立たない理由として該当するもの全てをお選びください》</p> 01 前問10で回答した施設に、空床がないため 02 前問10で回答した場所では、認知症への対応が困難なため 03 前問10で回答した場所では、医療処置（喀痰吸引、経管栄養等）が提供できないため 04 前問10で回答した場所では、その他必要な医療を提供する体制（訪問診療、訪問看護等）が確保できないため 05 前問10で回答した場所では、必要な介護サービスが確保できないため 06 前問10で回答した場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 07 前問10で回答した場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 前問10で回答した場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 本人・家族に退所後の生活に対する不安があるため 10 経済的事情があるため 11 その他（ ）

Ⅳ 入所者本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望

カルテ等に記載してある場合など、把握している範囲で記入してください。

12 今後の生活・療養の場に関する本人の希望 【0を1つ】	01 意思表示不能 02 希望は把握していない 03 現在の療養場所での療養を希望 04 自宅での療養を希望 05 医療機関での療養を希望 06 介護老人保健施設での療養を希望 07 他の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での療養を希望 08 その他の介護施設での療養を希望 09 その他（ ）
13 今後の生活・療養の場に関する家族の希望 【0を1つ】	01 家族はいない 02 希望は把握していない 03 現在の療養場所での療養を希望 04 自宅での療養を希望 05 医療機関での療養を希望 06 介護老人保健施設での療養を希望 07 他の介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での療養を希望 08 その他の介護施設での療養を希望 09 その他（ ）

V 入所者への医療の提供状況（医療区分等）に係る評価

◇平成22年6月23日における対象入所者の状態について、下記の評価項目等に該当する場合は、その全てについて記入欄内に○をつけてください。

◇なお、この評価項目は、療養病棟を有する医療機関で使用される医療区分等に基づき作成されています。記入要領をご参照いただきながら、該当する全ての項目に○をつけるようにしてください。特に※の項目の定義については、必ず記入要領で確認してから判断してください。

		記 入 欄	
		該当あり	
01	24時間持続して点滴を実施している状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	01-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
02	尿路感染症に対する治療を実施している状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	02-2 連続して実施しているのは14日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
03	傷病等により医療保険のリハビリテーションが必要な状態※	<input type="checkbox"/>	不 明
	03-2 原因となる傷病等の発症後30日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
04	リハビリテーションが必要な状態（03の場合を除く）※	<input type="checkbox"/>	
05	脱水に対する治療を実施している状態、かつ、発熱を伴う状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	05-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
06	脱水に対する治療を実施している状態（発熱を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
07	消化管等の体内からの出血が反復継続している状態※	<input type="checkbox"/>	不 明
	07-2 連続しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
08	頻回の嘔吐に対する治療を実施している状態、かつ、発熱を伴う状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	08-2 連続して実施しているのは3日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09	頻回の嘔吐に対する治療を実施している状態（発熱を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
10	せん妄に対する治療を実施している状態※	<input type="checkbox"/>	不 明
	10-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われており、かつ、発熱又は嘔吐を伴う状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	11-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態（発熱及び嘔吐を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
13	頻回の血糖検査を実施している状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	13-2 連続して実施しているのは3日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	インスリン注射を実施している状態	<input type="checkbox"/>	
15	スモン	<input type="checkbox"/>	
16	医師及び看護職員により、常時、監視及び管理を実施している状態※	<input type="checkbox"/>	
17	中心静脈栄養を実施している状態	<input type="checkbox"/>	
18	人工呼吸器を使用している状態（1日5時間以上）	<input type="checkbox"/>	
19	ドレーン法又は胸腔若しくは腹腔の洗浄を実施している状態	<input type="checkbox"/>	
20	気管切開又は気管内挿管が行われており、かつ、発熱を伴う状態	<input type="checkbox"/>	
21	気管切開又は気管内挿管が行われている状態（発熱を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
22	酸素療法を実施している状態	<input type="checkbox"/>	

23	感染症の治療の必要性から隔離室での管理を実施している状態		
24	筋ジストロフィー症		
25	多発性硬化症		
26	筋萎縮性側索硬化症		
27	パーキンソン病関連疾患 [進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病 (ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度の状態に限る。)]		
28	その他の難病 (スモン、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病関連疾患を除く。)		
29	脊髄損傷 (頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢すべてに認められる場合に限る。)		
30	重度の意識障害		
31	慢性閉塞性肺疾患 (ヒュー・ジョーンズの分類がⅤ度の状態に該当する場合に限る。)		
32	人工腎臓、持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流又は血漿交換療法を実施している状態		
33	悪性腫瘍 (医療用麻薬等の薬剤投与による疼痛コントロールが必要な場合に限る。)		
34	悪性腫瘍以外で疼痛コントロールが必要な状態		
35	肺炎に対する治療を実施している状態		
36	褥瘡に対する治療を実施している状態 (皮膚層の部分的喪失が認められる場合、又は褥瘡が2カ所以上に認められる場合に限る。)		
37	褥瘡に対する治療を実施している状態 (36の場合を除く。)		
38	末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療を実施している状態		
39	うつ症状に対する治療を実施している状態		
40	他者に対する暴行が毎日認められる状態		
41	1日8回以上の喀痰吸引を実施している状態		
42	1日に1回以上8回未満の喀痰吸引を実施している状態		
43	創傷 (手術創や感染創を含む)、皮膚潰瘍又は下腿若しくは足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療を実施している状態		
44	人工肛門の処置を実施している状態		
45	膀胱留置カテーテル、導尿等の排尿時の処置を実施している状態		
46	過去7日間に内服した薬剤の種類※	種類	
47	過去7日間に実施した検査の内容	① 検体検査 (尿・血液等)	
		② 生体検査 (超音波・内視鏡等)	
		③ X線単純撮影	
		④ CT・MRI	

VI ADL区分に係る評価

別添の記入要領に基づき、6月23日時点の入所者の状態として該当する点数を記入してください。

自立：0点 準備のみ：1点 観察：2点 部分的な援助：3点 広範な援助：4点 最大の援助：5点 全面依存：6点

記入欄

A	ベッド上の可動性	点
B	移乗	点
C	食事	点
D	トイレの使用	点

入所者特性調査票

老人保健施設

◆本調査は、医療施設・介護施設を利用する方々への横断的な調査であるため、各設問において貴施設に該当しない選択肢があり得ますが、最も適切と考えられるものについてご記入下さい。

I 入所者の基本情報

		連番 記入欄	
1 性別	01 男 02 女	2 年齢	満 歳 (平成 22 年 6 月 23 日時点)
3 入所日	(昭和・平成) 年 月		
4 入所施設の種別	01 介護療養型老人保健施設	02 01 以外の老人保健施設	
5 入所時の理由 【該当する全てに○】	01 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 02 継続的な高度な医療管理が必要なため 03 疾病の急性期状態が安定したため 04 継続的なリハビリが必要なため 05 医療施設もしくは他の介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 06 在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療・介護サービスが確保できないため 07 在宅療養でも対応できるが、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 上記以外で、本人、家族等が強く希望するため 10 その他 ()		
6 入所前の居場所 【○を1つ】	01 自宅 (家族等との同居も含む) 08 その他の医療機関の介護療養型医療施設 02 同一法人 ^{注1} の一般病棟 09 その他の医療機関のその他の病棟 03 同一法人の医療療養病棟 10 他の介護老人保健施設 04 同一法人の介護療養型医療施設 ^{注2} 11 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 05 同一法人のその他の病棟 12 その他の介護施設 ^{注3} 06 その他の医療機関の一般病棟 13 その他 () 07 その他の医療機関の医療療養病棟		
≪01 の場合、自宅での介護者の有無について該当するもの1つに○をつけてください≫ 01 日中、夜間とも介護ができる人がいない (介護者が病気等により介護できない場合も含む) 02 夜間のみ、介護ができる人がいる 05 不明 03 日中のみ、介護ができる人がいる 06 その他 () 04 日中、夜間とも介護ができる人がいる			

注1：貴施設と同一の法人、または関連する法人によって運営されている医療機関。

注2：老人性認知症疾患療養病棟を含む。

注3：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、認知症グループホーム等。

II 入所者の状態等

7 現在治療中の疾患 【該当する全てに○】 ※内服のみのものも含まれます。ただし、現在治療していない既往歴は含めないでください。	01 脳血管疾患	07 糖尿病	13 気管支喘息
	02 骨折 (大腿骨、脊髄等)	08 うつ・躁うつ	14 高血圧症
	03 認知症	09 肺気腫・慢性閉塞性肺疾患	15 麻痺
	04 心疾患	10 てんかん	16 廃用症候群
	05 パーキンソン病関連疾患	11 慢性腎機能障害・腎不全	17 疾患は特になし
	06 悪性新生物 (がん)	12 肺炎 (誤嚥性肺炎を含む)	18 その他 ()
8 要介護度 【○を1つ】	01 未申請・申請中 03 要支援 1 05 要介護 1 07 要介護 3 09 要介護 5 02 非該当 04 要支援 2 06 要介護 2 08 要介護 4 10 不明		
≪02～09 の場合、その要介護度の認定時期として該当する方をお選びください≫ 01 認定を受けて3カ月以内 02 認定を受けて3カ月以上経過			
9 認知症高齢者の日常生活自立度 【○を1つ】	≪別添の記入要領に基づきご記入ください≫ 01 自立 03 II 05 IIIb 07 M 02 I 04 IIIa 06 IV		

Ⅲ 今後の生活・療養の場の見通し等
想定できる範囲で記入してください。

10 30日後の 病状の見通し 【〇を1つ】	01 治癒 02 軽快：医療処置の必要性が減少、又は医学的管理の必要性が低下 03 不変：医療処置の必要性および医学的管理の必要性が現状維持される 04 悪化：医療処置の必要性が増加、又は医学的管理の必要性が上昇 05 ターミナルケアを実施する状態
11 最も適切と 考えられる 生活・療養の場 【〇を1つ】	<p>≪前問10の病状を踏まえた上で、最も適切と考えられる今後の生活・療養の場を1つお選びください。≫</p> 01 自宅（家族等との同居も含む） 02 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 03 介護老人保健施設（自施設・他施設を問わず） 04 その他の介護施設 05 一般病棟 06 医療療養病棟 07 介護療養型医療施設 08 その他の病棟 09 その他（ ）
12 今後の 生活・療養の場 の見通し 【〇を1つ】	01 現時点で、前問11で回答した場所で生活・療養する見通しが立っている 02 現時点で、前問11で回答した場所で生活・療養する見通しが立っていない <p>≪02と回答した場合、見通しが立たない理由として該当するもの全てをお選びください≫</p> 01 前問11で回答した施設に、空床がないため 02 前問11で回答した場所では、認知症への対応が困難なため 03 前問11で回答した場所では、医療処置（喀痰吸引、経管栄養等）が提供できないため 04 前問11で回答した場所では、その他必要な医療を提供する体制（訪問診療、訪問看護等）が確保できないため 05 前問11で回答した場所では、必要な介護サービスが確保できないため 06 前問11で回答した場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 07 前問11で回答した場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 前問11で回答した場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 本人・家族に退所後の生活に対する不安があるため 10 経済的事情があるため 11 その他（ ）

Ⅳ 入所者本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望
カルテ等に記載してある場合など、把握している範囲で記入してください。

13 今後の 生活・療養の場 に関する 本人の希望 【〇を1つ】	01 意思表示不能 02 希望は把握していない 03 現在の療養場所での療養を希望 04 自宅での療養を希望 05 医療機関での療養を希望 06 他の介護老人保健施設での療養を希望 07 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での療養を希望 08 その他の介護施設での療養を希望 09 その他（ ）
14 今後の 生活・療養の場 に関する 家族の希望 【〇を1つ】	01 家族はいない 02 希望は把握していない 03 現在の療養場所での療養を希望 04 自宅での療養を希望 05 医療機関での療養を希望 06 他の介護老人保健施設での療養を希望 07 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での療養を希望 08 その他の介護施設での療養を希望 09 その他（ ）

V 入所者への医療の提供状況（医療区分等）に係る評価

◇平成22年6月23日における対象入所者の状態について、下記の評価項目等に該当する場合は、その全てについて記入欄内に○をつけてください。

◇なお、この評価項目は、療養病棟を有する医療機関で使用される医療区分等に基づき作成されています。記入要領をご参照いただきながら、該当する全ての項目に○をつけるようにしてください。特に※の項目の定義については、必ず記入要領で確認してから判断してください。

		記 入 欄	
		該当あり	
01	24時間持続して点滴を実施している状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	01-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
02	尿路感染症に対する治療を実施している状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	02-2 連続して実施しているのは14日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
03	傷病等により医療保険のリハビリテーションが必要な状態※	<input type="checkbox"/>	不 明
	03-2 原因となる傷病等の発症後30日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
04	リハビリテーションが必要な状態（03の場合を除く）※	<input type="checkbox"/>	
05	脱水に対する治療を実施している状態、かつ、発熱を伴う状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	05-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
06	脱水に対する治療を実施している状態（発熱を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
07	消化管等の体内からの出血が反復継続している状態※	<input type="checkbox"/>	不 明
	07-2 連続しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
08	頻回の嘔吐に対する治療を実施している状態、かつ、発熱を伴う状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	08-2 連続して実施しているのは3日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
09	頻回の嘔吐に対する治療を実施している状態（発熱を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
10	せん妄に対する治療を実施している状態※	<input type="checkbox"/>	不 明
	10-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われており、かつ、発熱又は嘔吐を伴う状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	11-2 連続して実施しているのは7日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態（発熱及び嘔吐を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
13	頻回の血糖検査を実施している状態	<input type="checkbox"/>	不 明
	13-2 連続して実施しているのは3日以内	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	インスリン注射を実施している状態	<input type="checkbox"/>	
15	スモン	<input type="checkbox"/>	
16	医師及び看護職員により、常時、監視及び管理を実施している状態※	<input type="checkbox"/>	
17	中心静脈栄養を実施している状態	<input type="checkbox"/>	
18	人工呼吸器を使用している状態（1日5時間以上）	<input type="checkbox"/>	
19	ドレーン法又は胸腔若しくは腹腔の洗浄を実施している状態	<input type="checkbox"/>	
20	気管切開又は気管内挿管が行われており、かつ、発熱を伴う状態	<input type="checkbox"/>	
21	気管切開又は気管内挿管が行われている状態（発熱を伴わない状態）	<input type="checkbox"/>	
22	酸素療法を実施している状態	<input type="checkbox"/>	

23	感染症の治療の必要性から隔離室での管理を実施している状態		
24	筋ジストロフィー症		
25	多発性硬化症		
26	筋萎縮性側索硬化症		
27	パーキンソン病関連疾患 [進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病 (ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度の状態に限る。)]		
28	その他の難病 (スモン、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病関連疾患を除く。)		
29	脊髄損傷 (頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢すべてに認められる場合に限る。)		
30	重度の意識障害		
31	慢性閉塞性肺疾患 (ヒュー・ジョーンズの分類がⅤ度の状態に該当する場合に限る。)		
32	人工腎臓、持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流又は血漿交換療法を実施している状態		
33	悪性腫瘍 (医療用麻薬等の薬剤投与による疼痛コントロールが必要な場合に限る。)		
34	悪性腫瘍以外で疼痛コントロールが必要な状態		
35	肺炎に対する治療を実施している状態		
36	褥瘡に対する治療を実施している状態 (皮膚層の部分的喪失が認められる場合、又は褥瘡が2カ所以上に認められる場合に限る。)		
37	褥瘡に対する治療を実施している状態 (36の場合を除く。)		
38	末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療を実施している状態		
39	うつ症状に対する治療を実施している状態		
40	他者に対する暴行が毎日認められる状態		
41	1日8回以上の喀痰吸引を実施している状態		
42	1日に1回以上8回未満の喀痰吸引を実施している状態		
43	創傷 (手術創や感染創を含む)、皮膚潰瘍又は下腿若しくは足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療を実施している状態		
44	人工肛門の処置を実施している状態		
45	膀胱留置カテーテル、導尿等の排尿時の処置を実施している状態		
46	過去7日間に内服した薬剤の種類※	種類	
47	過去7日間に実施した検査の内容	① 検体検査 (尿・血液等)	
		② 生体検査 (超音波・内視鏡等)	
		③ X線単純撮影	
		④ CT・MRI	

VI ADL区分に係る評価

別添の記入要領に基づき、6月23日時点の入所者の状態として該当する点数を記入してください。

自立：0点 準備のみ：1点 観察：2点 部分的な援助：3点 広範な援助：4点 最大の援助：5点 全面依存：6点

記入欄

A	ベッド上の可動性	点
B	移乗	点
C	食事	点
D	トイレの使用	点

患者特性調査票

医療機関

◆本調査は、医療施設・介護施設を利用する方々への横断的な調査であるため、各設問において貴院に該当しない選択肢があり得ますが、最も適切と考えられるものについてご記入下さい。

I 患者の基本情報			連番 記入欄
1 性別	01 男 02 女	2 年齢	満____歳 (平成22年6月23日時点)
3 入院年月	(昭和・平成) 年 月		
4 入院している病棟の種別 【〇を1つ】	01 介護療養型医療施設 ^{注1} (病院)	06 一般病棟 (看護配置 15 : 1)	
	02 介護療養型医療施設 (診療所)	07 一般病棟 (看護配置 13 : 1)	
	03 医療療養病棟 (病院・看護配置 20 : 1)	08 一般病床 (診療所)	
	04 医療療養病棟 (病院・看護配置 25 : 1)	09 障害者施設	
	05 医療療養病床 (診療所)	10 特殊疾患療養病棟 ^{注2}	
≪回答した病棟が、平成20年4月以降に他の病棟から種別を変更した病棟である場合には、変更した年月を記入するとともに、変更前の病棟の種別について該当するもの1つに〇をつけてください(複数回変更している場合は、直近の変更について記入ください)≫			
病棟変更の年月		平成 ____年 ____月	
	01 介護療養型医療施設	03 一般病棟	
	02 医療療養病棟	04 その他の病棟	
5 入院時の理由 【該当する全てに〇】	01 疾病が急性発症、又は急性増悪したため 02 継続的な高度な医療管理が必要なため 03 疾病の急性期状態が安定したため 04 継続的なりハビリが必要なため 05 他の医療施設もしくは介護施設でも対応できるが、適切な施設に空きがないため 06 在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療・介護サービスが確保できないため 07 在宅療養でも対応できるが、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 上記以外で、本人、家族等が強く希望するため 10 その他 ()		
6 入院前の居場所 【〇を1つ】	01 自宅 (家族等との同居も含む)	08 その他の医療機関の介護療養型医療施設	
	02 自院または同一法人 ^{注3} の一般病棟	09 その他の医療機関のその他の病棟	
	03 自院または同一法人の医療療養病棟	10 介護老人保健施設	
	04 自院または同一法人の介護療養型医療施設	11 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	
	05 自院または同一法人のその他の病棟	12 その他の介護施設 ^{注4}	
	06 その他の医療機関の一般病棟	13 その他 ()	
	07 その他の医療機関の医療療養病棟		
≪01の場合、自宅で介護者の有無について該当するもの1つに〇をつけてください≫			
	01 日中、夜間とも介護ができる人がいない (介護者が病気等により介護できない場合も含む)	05 不明	
	02 夜間のみ、介護ができる人がいる	06 その他 ()	
	03 日中のみ、介護ができる人がいる		
	04 日中、夜間とも介護ができる人がいる		

注1：老人性認知症疾患療養病棟を含む。

注2：特殊疾患入院医療管理料を算定している病室を含む。

注3：貴院と同一の法人、または関連する法人によって運営されている医療機関。

注4：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅、認知症グループホーム等。

II 患者の状態等

7 現在治療中の疾患 【該当する全てに〇】 ※内服のみのものも含みます。ただし、現在治療していない既往歴は含めないでください。	01 脳血管疾患	07 糖尿病	13 気管支喘息
	02 骨折 (大腿骨、脊髄等)	08 うつ・躁うつ	14 高血圧症
	03 認知症	09 肺気腫・慢性閉塞性肺疾患	15 麻痺
	04 心疾患	10 てんかん	16 廃用症候群
	05 パーキンソン病関連疾患	11 慢性腎機能障害・腎不全	17 疾患は特になし
	06 悪性新生物 (がん)	12 肺炎 (誤嚥性肺炎を含む)	18 その他 ()

8 要介護度 【0を1つ】	01 未申請・申請中 03 要支援1 05 要介護1 07 要介護3 09 要介護5
	02 非該当 04 要支援2 06 要介護2 08 要介護4 10 不明
《02～09の場合、その要介護度の認定時期として該当する方をお選びください》	
01 認定を受けて3カ月以内 02 認定を受けて3カ月以上経過	
9 認知症高齢者の 日常生活自立度 【0を1つ】	《別添の記入要領に基づきご記入ください》
	01 自立 03 II 05 IIIb 07 M 02 I 04 IIIa 06 IV

Ⅲ 今後の生活・療養の場の見通し等 想定できる範囲で記入してください。

10 30日後の 病状の見通し 【0を1つ】	01 治癒 02 軽快：医療処置の必要性が減少、又は医学的管理の必要性が低下 03 不変：医療処置の必要性および医学的管理の必要性が現状維持される 04 悪化：医療処置の必要性が増加、又は医学的管理の必要性が上昇 05 ターミナルケアを実施する状態
11 最も適切と 考えられる 生活・療養の場 【0を1つ】	《前問10の病状を踏まえた上で、最も適切と考えられる今後の生活・療養の場を1つお選びください。》 01 自宅（家族等との同居も含む） 06 医療療養病棟（自院・他院を問わず） 02 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） 07 介護療養型医療施設（自院・他院を問わず） 03 介護老人保健施設 08 その他の病棟（自院・他院を問わず） 04 その他の介護施設 09 その他（ ） 05 一般病棟（自院・他院を問わず）
12 今後の 生活・療養の場 の見通し 【0を1つ】	01 現時点で、前問11で回答した場所で生活・療養する見通しが立っている 02 現時点で、前問11で回答した場所で生活・療養する見通しが立っていない 《02と回答した場合、見通しが立たない理由として該当するもの全てをお選びください》 01 前問11で回答した施設に、空床がないため 02 前問11で回答した場所では、認知症への対応が困難なため 03 前問11で回答した場所では、医療処置（喀痰吸引、経管栄養等）が提供できないため 04 前問11で回答した場所では、その他必要な医療を提供する体制（訪問診療、訪問看護等）が確保できないため 05 前問11で回答した場所では、必要な介護サービスが確保できないため 06 前問11で回答した場所では、夜間に必要な医療・介護サービスが確保できないため 07 前問11で回答した場所での、住宅改修等の住環境の整備ができないため 08 前問11で回答した場所での、家族の介護困難、又は介護者不在のため 09 本人・家族に退院後の生活に対する不安があるため 10 経済的事項があるため 11 その他（ ）

Ⅳ 患者本人・家族の今後の生活・療養の場に関する希望 カルテ等に記載してある場合など、把握している範囲で記入してください。

13 今後の 生活・療養の場 に関する 本人の希望 【0を1つ】	01 意思表示不能 06 介護老人保健施設での療養を希望
	02 希望は把握していない 07 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）での療養を希望
14 今後の 生活・療養の場 に関する 家族の希望 【0を1つ】	03 現在の療養場所での療養を希望 08 その他の介護施設での療養を希望
	04 自宅での療養を希望 09 その他（ ） 05 他の医療機関での療養を希望

V 患者への医療の提供状況（医療区分等）に係る評価

◇平成22年6月23日における対象患者の状態について、下記の評価項目等に該当する場合は、その全てについて記入欄内に○をつけてください。

◇なお、この評価項目は、療養病棟入院基本料等の算定の際に使用する医療区分に基づき作成されていますが、一部に医療区分の評価項目以外のもも含まれています。記入要領をご参照いただきながら、該当する全ての項目に○をつけるようにしてください。特に※の項目の定義については、必ず記入要領で確認してから判断してください。

		記 入 欄
		該当あり
01	24時間持続して点滴を実施している状態	不明
	01-2 連続して実施しているのは7日以内	不明
02	尿路感染症に対する治療を実施している状態	不明
	02-2 連続して実施しているのは14日以内	不明
03	傷病等により医療保険のリハビリテーションが必要な状態※	不明
	03-2 原因となる傷病等の発症後30日以内	不明
04	リハビリテーションが必要な状態（03の場合を除く）※	不明
05	脱水に対する治療を実施している状態、かつ、発熱を伴う状態	不明
	05-2 連続して実施しているのは7日以内	不明
06	脱水に対する治療を実施している状態（発熱を伴わない状態）	不明
07	消化管等の体内からの出血が反復継続している状態※	不明
	07-2 連続しているのは7日以内	不明
08	頻回の嘔吐に対する治療を実施している状態、かつ、発熱を伴う状態	不明
	08-2 連続して実施しているのは3日以内	不明
09	頻回の嘔吐に対する治療を実施している状態（発熱を伴わない状態）	不明
10	せん妄に対する治療を実施している状態※	不明
	10-2 連続して実施しているのは7日以内	不明
11	経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われており、かつ、発熱又は嘔吐を伴う状態	不明
	11-2 連続して実施しているのは7日以内	不明
12	経鼻胃管や胃ろう等の経腸栄養が行われている状態（発熱及び嘔吐を伴わない状態）	不明
13	頻回の血糖検査を実施している状態	不明
	13-2 連続して実施しているのは3日以内	不明
14	インスリン注射を実施している状態	不明
15	スモン	不明
16	医師及び看護職員により、常時、監視及び管理を実施している状態※	不明
17	中心静脈栄養を実施している状態	不明
18	人工呼吸器を使用している状態（1日5時間以上）	不明
19	ドレーン法又は胸腔若しくは腹腔の洗浄を実施している状態	不明
20	気管切開又は気管内挿管が行われており、かつ、発熱を伴う状態	不明
21	気管切開又は気管内挿管が行われている状態（発熱を伴わない状態）	不明
22	酸素療法を実施している状態	不明

23	感染症の治療の必要性から隔離室での管理を実施している状態		
24	筋ジストロフィー症		
25	多発性硬化症		
26	筋萎縮性側索硬化症		
27	パーキンソン病関連疾患 [進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病 (ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度の状態に限る。)]		
28	その他の難病 (スモン、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症、パーキンソン病関連疾患を除く。)		
29	脊髄損傷 (頸椎損傷を原因とする麻痺が四肢すべてに認められる場合に限る。)		
30	重度の意識障害		
31	慢性閉塞性肺疾患 (ヒュー・ジョーンズの分類がⅤ度の状態に該当する場合に限る。)		
32	人工腎臓、持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流又は血漿交換療法を実施している状態		
33	悪性腫瘍 (医療用麻薬等の薬剤投与による疼痛コントロールが必要な場合に限る。)		
34	悪性腫瘍以外で疼痛コントロールが必要な状態		
35	肺炎に対する治療を実施している状態		
36	褥瘡に対する治療を実施している状態 (皮膚層の部分的喪失が認められる場合、又は褥瘡が2カ所以上に認められる場合に限る。)		
37	褥瘡に対する治療を実施している状態 (36の場合を除く。)		
38	末梢循環障害による下肢末端の開放創に対する治療を実施している状態		
39	うつ症状に対する治療を実施している状態		
40	他者に対する暴行が毎日認められる状態		
41	1日8回以上の喀痰吸引を実施している状態		
42	1日に1回以上8回未満の喀痰吸引を実施している状態		
43	創傷 (手術創や感染創を含む)、皮膚潰瘍又は下腿若しくは足部の蜂巣炎、膿等の感染症に対する治療を実施している状態		
44	人工肛門の処置を実施している状態		
45	膀胱留置カテーテル、導尿等の排尿時の処置を実施している状態		
46	過去7日間に内服した薬剤の種類※	種類	
47	過去7日間に実施した検査の内容	① 検体検査 (尿・血液等)	
		② 生体検査 (超音波・内視鏡等)	
		③ X線単純撮影	
		④ CT・MRI	

VI ADL区分に係る評価

別添の記入要領に基づき、6月23日時点の患者の状態として該当する点数を記入してください。

自立：0点 準備のみ：1点 観察：2点 部分的な援助：3点 広範な援助：4点 最大の援助：5点 全面依存：6点

		記入欄
A	ベッド上の可動性	点
B	移乗	点
C	食事	点
D	トイレの使用	点

介護療養病床等における入所者の実態に関する調査研究
医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査
【介護保険施設】
報告書

平成 23 年 3 月

発行:財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会
医療経済研究機構

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-11
第 11 東洋海事ビル
TEL : 03 (3506) 8529
FAX : 03 (3506) 8528

本報告書の全部又は一部を問わず、無断引用、転載を禁じます。

PJ No. 10401